

SFC学事日程 2

1. SFCキャンパス案内

1 学事担当 6
 2 学生生活担当 8
 3 就職・進路支援担当 (CDP オフィス) 10
 4 その他窓口 11
 5 Web サイト・メール 12

2. 履修

1 履修とは 13
 2 履修申告の流れ 13
 3 履修申告について 15
 4 各科目履修申告時の注意事項 18
 5 総環設置科目以外の履修 21
 6 その他 24

3. カリキュラム、進級・卒業条件

在学生に適用される学則 25
 1 カリキュラム 26
 2 進級と卒業条件 32

個人情報の取扱いについて 36

慶應義塾湘南藤沢キャンパスマップ 37

湘南藤沢キャンパス 施設案内図 38

歌集 42

【重要】

これまで冊子で案内していた内容は塾生サイトでSFC GUIDE Webとして公開しています。この冊子に掲載されていない事項についても案内していますので、必ず併せて確認するようにしてください。

URL : <https://www.students.keio.ac.jp/sfc/pmei/guide.html>



この履修案内は、2023年度に総合政策学部および環境情報学部に在籍する学生に対する諸注意について解説しています。入学時に配布された「学部学則」を併せて熟読し、内容を十分に理解した上で履修するようにしてください。この冊子や keio.jp、塾生サイト、ガイダンスでの注意を見たり聞いたりすることを怠ったための不利益は、学生本人の責任となりますので注意してください。この冊子を読んでもなお不明な点は、学習指導担当教員やSFC学事担当窓口にお問い合わせ、決して曖昧なままにしないでください。

2023年度 SFC 学事日程

※他キャンパスの学事日程とは異なる場合があります。他キャンパスの学事日程は塾生サイト等で確認してください。
※日程は変更される場合があります。最新の情報は keio.jp 等に掲載されます。

授業期間 休校期間 休日

①、②…：2学期制科目の授業回数 ①、②…：4学期制科目 ①、②…：4学期制科目 ①、②…：4学期制科目 ①、②…：4学期制科目 ①、②…：4学期制科目 ①、②…：4学期制科目

日	月	火	水	木	金	土
						1 入学式(日吉キャンパス) 4年生卒業見込証明書 発行開始
2						8 春学期開講科目履修選抜 エントリー締切 12:00 履修申告(1次)(3日 12:30~5日 16:45) → 履修申告(2次)(6日 18:00~14日 10:00)
9						15 履修申告(2次)(6日 18:00~14日 10:00) → 補講日
16						22 履修確認画面公開 16:00 履修エラー修正(対象者のみ)(20日~21日) → 補講日
23						29 開校記念日 授業料等納入期限 (全納または春学期分納) 春学期前半・春学期科目履修取消(27日 10:00~28日 16:45) → 昭和の日
30						

5月

日	月	火	水	木	金	土
			2 憲法記念日	3 みどりの日	4 こどもの日	6
7						13 補講日
14						20 補講日
21						27 野球早慶戦(予定)
28						31 春学期休学願提出期限 GIGA サティファイメント申請締切

6月

日	月	火	水	木	金	土
					1 春学期前半科目試験日	2 春学期前半科目試験日
4						10 補講日
11						17 補講日
18						24 春学期前半科目成績発表 春学期後半科目履修取消(19日 10:00~20日 16:45) → 補講日
25						30 補講日

授業期間 休校期間 休日

7月

①、②…：2学期制科目の授業回数 ①、②…：4学期制科目 学期前半の授業回数 ①、②…：4学期制科目 学期後半の授業回数

日	月	火	水	木	金	土
7月上旬：卒プロメンター2次申請 7月中旬：卒プロメンター2次申請結果発表						1 七夕祭(予定)
2 七夕祭(予定)	3	4	5	6	7	8
9 ⑬⑭⑮ 春学期後半・春学期科目 定期試験時間割発表	10 ⑬⑭⑮	11 ⑫⑬⑭	12 ⑫⑬⑭	13 ⑫⑬⑭	14 ⑫⑬⑭	15 補講日
16 ⑭⑮⑯ 海の日	17 ⑭⑮⑯	18 ⑬⑭⑮	19 ⑬⑭⑮	20 ⑬⑭⑮	21 ⑬⑭⑮ 春学期授業終了	22 補講日
23	24 補講日	25 ⑭⑮⑯	26 ⑭⑮⑯	27 ⑭⑮⑯	28 ⑭⑮⑯	29 補講日
春学期後半・春学期科目定期試験期間(24日~31日) ※31日は予備日						
30	31 定期試験期間(24日~31日)					

8月

日	月	火	水	木	金	土
		1 在学期間延長制度・ 3.5年早期卒業制度・ 学部大学院修士4年一貫 教育プログラム 申請締切	2	3	4 春学期後半・春学期科目 追加試験(予定)	5
6 春学期後半・春学期科目 追加試験(予定)	7	8	9	10	11 山の日	12
湘南藤沢キャンパス一斉休業(9日~16日)						
13	14	15	16	17	18	19
湘南藤沢キャンパス一斉休業(9日~16日)						
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

9月

日	月	火	水	木	金	土
9月上旬：卒プロメンター修正申請開始 9月中旬：卒プロメンター0次申請					1	2
3	4	5 成績発表・卒業発表	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17 敬老の日	18	19	20 卒業式(三田キャンパス)	21	22 入学式(三田キャンパス) 4年生卒業見込証明書 発行開始	23 秋分の日
24	25	26 秋学期開講科目履修選抜 エントリー締切 12:00	27	28	29 秋学期開講科目 選抜結果発表 18:00	30
履修申告(1次)(26日 12:30~28日 16:45)					履修申告(2次)(29日 18:00~10月9日 10:00)	

授業期間 休校期間 休日

10月 ①、②…：2学期制科目の授業回数 ①、②…：4学期制科目 学期前半の授業回数 ①、②…：4学期制科目 学期後半の授業回数

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
10月1日 秋学期授業開始						
履修申告(2次)(9月29日18:00~10月9日10:00)						
8	9	10	11	12	13	14
10月8日 スポーツの日(授業あり)						
履修申告(2次)(9月29日18:00~10月9日10:00)						
15	16	17	18	19	20	21
履修エラー修正(対象者のみ)(16日~17日)						
22	23	24	25	26	27	28
秋学期前半・秋学期科目履修取消(23日10:00~24日16:45)						
29	30	31				
10月29日 野球早慶戦(予定)						
授業料等納入期限(秋学期分納)						

11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
11月3日 文化の日(授業あり)						
5	6	7	8	9	10	11
11月5日 補講日						
12	13	14	15	16	17	18
11月12日 補講日						
19	20	21	22	23	24	25
11月19日 (午前) 秋学期前半科目補講日 試験日						
11月20日 (午後) 三田祭準備						
11月21日 三田祭準備						
11月22日 三田祭						
11月23日 三田祭						
11月24日 三田祭						
26	27	28	29	30		
11月26日 三田祭						
11月27日 三田祭片付け						
11月28日 秋学期休学願提出期限 GIGA サティファイケート申請締切						
11月29日 秋学期休学願提出期限 GIGA サティファイケート申請締切						

12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
12月上旬：卒プロメンター1次申請						
12月中旬：卒プロメンター1次申請結果発表						
3	4	5	6	7	8	9
12月3日 補講日						
10	11	12	13	14	15	16
12月10日 補講日						
12月12日 秋学期前半科目成績発表						
12月13日 秋学期後半科目履修取消(13日10:00~14日16:45)						
17	18	19	20	21	22	23
12月17日 補講日						
24	25	26	27	28	29	30
12月24日 補講日						
12月28日 湘南藤沢キャンパス一斉休業期間(28日~1月5日)						
31						
12月31日 一斉休業期間						

授業期間 休校期間 休日

1月 ①、②…：2学期制科目の授業回数 ①、②…：4学期制科目 学期前半の授業回数 ①、②…：4学期制科目 学期後半の授業回数

日	月	火	水	木	金	土
	元旦	1	2	3	4	5
	湘南藤沢キャンパス一斉休業期間(12月28日～1月5日)				※1月5日は授業あり	
7	成人の日	8	9	福澤先生誕生記念日	10	11
					12	補講日
					13	補講日
14		15	16	17	18	19
						20
21		22	23	24	25	26
				秋学期授業終了		27
					定期試験期間(26日～2月2日) ※2月2日は予備日	
28		29	30	31		
	1月中旬：卒プロメンター2次申請 1月下旬：卒プロメンター2次申請結果発表					
	秋学期後半・秋学期科目定期試験期間(26日～2月2日) ※2月2日は予備日					

2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				卒プロ2成果登録締切		福澤先生命日
				定期試験期間(1月26日～2月2日) ※2月2日は予備日		
4		5	6	7	8	9
			在学期間延長制度・3.5年早期卒業制度・学部大学院修士4年一貫教育プログラム 申請締切		秋学期後半・秋学期科目追加試験(予定)	秋学期後半・秋学期科目追加試験(予定)
11	建国記念の日	12	13	14	15	16
	振替休日					17
18		19	20	21	22	23
					天皇誕生日	24
25		26	27	28	29	

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
	3月上旬：卒プロメンター修正申請開始					
3		4	5	6	7	8
						成績発表・卒業発表
10		11	12	13	14	15
						16
17		18	19	20	21	22
			春分の日			23
24	卒業式(日吉キャンパス)	25	26	27	28	29
						30
31						

第1 SFC キャンパス案内

1 学事担当

(1) 窓口取扱い時間

A館1階事務室 学事担当

平日 9:15～16:50

◆土曜、日曜、授業のない（補講含む）祝日、1月10日（福澤先生誕生記念日）および夏季・冬季キャンパス一斉休業期間は閉室します。

◆上記以外の閉室日は、keio.jp、塾生サイトで随時お知らせします。

(2) 学生証

学生証は本塾大学学生であることを証明する身分証明書です。**様々な場面で必要になるので常に携帯してください。不携帯の場合は窓口での一切の手続きができません。**

学生証は「カード」「在籍確認シール」「カードケース」の3点で1セットです。「カード」裏面に「在籍確認シール」を貼り「カードケース」に必ず入れ携帯してください。カードは卒業するまで同じカードを使います。

なお、学生証は他人に貸与または譲渡することはできません。

① 在籍確認シール

2022年度以降、年度ごとのシール更新は行いません。休学・留学・原級等の理由で、シールの有効期限が切れる学生には、有効期限が切れる前に、有効期限を更新したシールを配付します。

② 再交付

「カード」「在籍確認シール」の紛失・破損・汚損などにより再交付を受ける場合は、所定の申請手続きをしてください。

③ 返却

再交付後に紛失した学生証が見つかった場合、また、退学などで学籍を離れる場合は直ちに返却してください。

(3) 諸届, 申請

① 住所変更届（本人・保証人）

速やかに変更手続きをしてください。住居表示・地番変更の場合も手続きが必要です。

◆本人の住所・電話番号変更

keio.jpの「各種変更」の「住所確認・変更」から変更手続きをしてください。原則として事務室の翌営業日に申請内容が承認され正式に登録されます。

◆保証人の住所・電話番号変更

住所変更の場合は保証人の住民票が必要になります。提出する住民票は、マイナンバー（個人番号）が記載されていないものとしてください。

② 保証人変更届

速やかに届け出てください。保証人は日本国内に居住し、一家計を立てている成年者で、本人の学費と一身上に関する責任を負うことのできる者とし、父または母としてください。父母が保証人となり得ない場合は、兄、姉、伯父、伯母等後見人またはこれに準ずる方としてください。なお、国内に居住する者が保証人となりえない場合は、国外に居住する者を保証人とすることができます。ただし、この場合は、本人に緊急事態が発生した場合の連絡先として、日本国内の住所を必ず「緊急連絡先」として届け出てください。「緊急連絡先」は、緊急時に速やかに連絡がつくことをその要件とします。

③ 改姓改名届

速やかに届け出てください。本人の住所変更を伴う場合は、上述に従い、住所変更の届け出が必要です。

④ 学外行事届・海外活動申請書

学生団体や研究会が学外で合宿、対外試合、催物などを行う場合は「学外行事届」を、海外へ渡航する際には「海外活動申請書」を、事前に下記システム上で作成し、学生団体の会長等の担当教員の承認を得てから、必ず提出してください。届けが提出されなかった場合、事故等により傷害を受けても、学生教育研究災害傷害保険の対象にならないことがあります。

学生団体活動支援システム：<https://studentlife.gakuji.keio.ac.jp/ja>

(4) 証明書

証明書の種類、発行方法等、詳細は下記を参照してください。

<https://www.students.keio.ac.jp/com/procedure/certificate/issue.html>

- ・各キャンパスの証明書発行機
- ・全国のコンビニエンスストア（セブン-イレブン、ファミリーマート、ローソン（50音順））
- ・電子証明書（PDF）のオンライン送付

にて証明書発行が可能です。利用にはオンライン事前申請が必要になります。

なお、前学期までの学費が未納の場合は、すべての証明書を発行できません。

A館1階事務室窓口前に証明書発行機があります（1台）。

発行稼働期間：月曜日～土曜日 9：15～20：00

※休校期間中の土曜日は稼働停止

※日曜日・祝日および大学休業日、学期末は稼働しません。

一部の証明書や厳封（封筒に入れて封をして交付）を必要とする場合は、証明書発行機・コンビニエンスストア・電子証明書（PDF）のオンライン送付機能は利用せず、SFC学事担当窓口に応じ出してください。すでに発行された証明書を後から厳封することはできません。

◆通学証明書（通学定期券）

2022年度より、通学定期券の購入手順が変更されました。以下の手順で、紙の「通学証明書」をあらかじめ発行してから、通学定期券を購入してください。なお授業科目履修のために所属以外のキャンパスに通学するための手続きは、塾生サイトでお知らせします。

- ① 証明書発行サービス（「塾生サイト」→「各種手続き」→「証明書」→「証明書の発行」からアクセス）にログインし、「通学証明書」を申請する。
- ② コンビニエンスストア、もしくは学内証明書発行機で「通学証明書」を印刷する。
- ③ 通学証明書に通学区間等を記入し、駅窓口等に通学証明書を提出して通学定期券を購入する。

※「通学証明書」の発行手数料は無料ですが、コンビニエンスストアで印刷する場合、印刷料金が60円かかります。

※通学区間は「自宅最寄駅」から「学校最寄駅」の最も経済的な経路に限ります（バス利用の場合は最寄りの停留所）。不正が判明した場合、通学証明書の発行を停止したり、学則に基づき処分することがあります。

※自宅住所を変更する場合、keio.jp「住所確認・変更」にて、住所変更の申請を行ってください。通学証明書に新住所が反映されるのは、住所変更の承認通知メールが届いた翌朝7:00以降です。

(5) 拾得物

学内の拾得物は、SFC学事担当窓口へ届けてください。なお、窓口取扱時間外は、警備室へ届けてください。

窓口に届けられた拾得物について

◆持ち主がわかる拾得物：SFC学事担当窓口にて保管

◆持ち主がわからない拾得物：保守管理室（湘南コミュニティーA館1階事務室隣）にて保管

体育館、更衣室ロッカー内および教室等に放置してある物品は処分します。なお、盗難の疑いがある場合はSFC学生生活担当窓口に応じ出してください。

(6) 夜間残留

SFC では科目担当教員の許可が得られた正課での活動に限り、事前申請を行った者のみ下記時間内においてキャンパス内の残留を認めています（以下、夜間残留）。

ただし、テスト勉強、サークル活動、就職活動といった正課外での夜間残留は一切認めていません。

詳細は keio.jp、塾生サイトでお知らせします。

夜間残留時間 23：00～翌朝 8：00

備考：残留時間中は警備員が巡回していますので、警備に学生証を提示してください。鍵借用のため、学生証が手元がない場合は、その旨を警備員に説明してください。

* 22：30 以降に来校した際には、北門警備室に必ず立ち寄ってください。

* 家族に事前に連絡をし、了承を得たうえで夜間残留をしてください。

* 体調が優れない場合は夜間残留を控えてください。

* 緊急事態が発生した場合には、北門警備室（0466-47-5111 または内線 52190・52191）に連絡してください。

* 夜間残留は事前の予告なく、停止・中止することがあります。

<夜間残留可能施設>

◆教室

◆共同研究室、個人研究室（教員の許可のある学生のみ利用可）

2 学生生活担当

(1) 窓口取扱い時間

A館 1 階事務室 学生生活担当窓口

平日 9：15～16：50

メールアドレス sl@sfc.keio.ac.jp

◆土曜、日曜、授業のない祝日、1月10日（福澤先生誕生記念日）および夏季・冬季キャンパス一斉休業期間は閉室いたします。

◆上記以外の閉室日は、塾生サイトで随時お知らせいたします。

(2) 福利厚生

① 学生健保医療給付制度

病気やケガにより、医療機関で受診した場合に、医療費（保険適用分）の自己負担分の一部を給付する制度です。詳細は、「健保の手引き」（冊子）および Web サイト <https://www.students.keio.ac.jp/com/life/health/> をご覧ください。

② 学生教育研究災害傷害保険 略称：学研災 ・ 学研災付帯賠償責任保険 略称：学研賠

大学の教育研究活動中に生じた不慮の事故により、負傷した場合や、他人にケガを負わせた場合等の救済措置として、大学が保険料を負担して、「学生教育研究災害傷害保険」および「学研災付帯賠償責任保険」に加入しています。

大学内外での正課、大学行事、課外活動（学外での活動の場合は事前に「学外行事届」の提出が必要）などの活動中が対象となります。

詳細は Web サイトをご覧ください。 <https://www.students.keio.ac.jp/com/life/health/insurance.html>

③ 奨学金制度

経済的に修学が困難な学生、または人物・学業が優秀な学生などを支援するためのお金を奨学金といいます。奨学金の詳細は、奨学金 Web サイトおよび奨学金案内（冊子）をご覧ください。

湘南藤沢キャンパス奨学金 Web サイト : <https://www.students.keio.ac.jp/sfc/scholarships/unique/>
 奨学金案内 : SFC 学生生活担当窓口 (A 館 1 階) にて配布

④ 学費

学費の振込用紙は保証人宛に発送します。海外には発送しておりませんので、保証人が海外に居住の場合は学生本人の国内住所宛てに発送します。振込用紙により、期日までに銀行窓口あるいはペイジー (Pay-easy) を利用して納入してください。また、振込用紙により納入した場合は、授業料等振込金領収証を、ペイジー (Pay-easy) をご利用の場合は、振込完了後の画面を印刷したものを大切に保管してください。

	春学期	秋学期
振込用紙発送予定	4月中旬	10月中旬
納入期限	4月末日	10月末日

<授業料延納申請>

やむを得ない事情で、授業料を期日までに納入できない場合は、「授業料延納申請書」(SFC 学生生活担当窓口および下記 Web サイトで配布) を以下の期日までに提出してください。理由が適当と認められた者に対しては、「延納決定通知書」を送付いたします。

	延納申請書提出期限	延納最終期日
春学期分	5月15日	7月下旬
秋学期分	11月15日	12月中旬

* 上記は予定です。申請する際には、SFC 学生生活担当窓口および下記 Web サイトで日程を確認してください。
 Web サイト : <https://www.students.keio.ac.jp/com/scholarships/tuition/extension.html>

<大規模自然災害被害による授業料減免申請>

大規模自然災害により被災し、経済上就学が著しく困難になった学生に対する授業料減免制度があります。該当者をご相談ください。休学を要する場合は塾生サイトを参照してください。

⑤ 塾外諸施設

a 学生健保互助組合 (学生健保) の契約旅館

学生健保では、格安の料金で利用できるように宿泊施設と契約を結んでいる「契約旅館」があります。宿泊施設については「健保の手引き」(冊子) に掲載されておりますので、利用方法等を確認してください。

b 立科山荘 (校外教育施設)

所在地 : 長野県北佐久郡立科町大字芦田八ヶ野字女神平 1153 番地

電話 : 0267-55-6625

利用期間 : 5月1日~10月31日

利用団体 : 学生団体、研究会等の正課、卒業生、教職員

予約開始日 : 前年度2月6日 (2月6日が休日の場合、翌開室日) * 多少前後する可能性があります。
 詳細は SFC 学生生活担当窓口 (A 館 1 階) にて配布しているパンフレットをご覧ください。

c 大学セミナーハウス

所在地 : 東京都八王子市下柚木 1987-1

電話 : 042-676-8511

URL : <https://iush.jp>

(3) 課外活動

① 学生団体申請

登録を希望する学生団体は、毎年度申請書類一式を提出してください。なお、公認学生団体の申請は提出期間が指定されます（4月下旬）。審査の結果、慶應義塾の教育目的に添い、かつ適当と認められた団体は慶應義塾大学の学生団体となることができます。

② 車両入構

a 自転車・バイク

自転車で通学する場合は、防犯登録した自転車を使用してください。

北門に入って右手にある駐輪場をご利用ください。

バイクの駐輪を希望する場合は、SFC 学生生活担当窓口（A館1階）にてバイク登録をしてください。

放置自転車・バイクは撤去されますのでしっかりと管理してください。

b 自動車

キャンパス内の自動車の乗り入れ、駐車は原則として禁止しています。

近隣店舗への無断迷惑駐車は厳禁です。迷惑行為を行った者に大学は厳格に対応します。

自動車で通学をする場合は、キャンパス周辺の駐車場をご利用ください。

なお、A館1階保守管理室（湘南コミュニティー 0466-48-8917）では、キャンパス周辺の駐車場の契約を行っています。

③ 貸しロッカー

キャンパス内（κ館、ι館、Ω館など）の貸しロッカーの利用を希望する場合は、A館1階保守管理室（湘南コミュニティー 0466-48-8917）にお問い合わせください。

3 就職・進路支援担当（CDP オフィス）

A館1階にあるSFC 就職・進路支援担当窓口（CDP オフィス）では、就職・進路に関連した各種支援を行っています。学年問わず利用できる支援内容も多くありますので、気軽に利用してください。

塾生サイト 就職・進路ページ <https://www.students.keio.ac.jp/com/career/service/>

SFC 就職・進路担当 Facebook <https://www.facebook.com/keiosfccdp/>

Twitter https://twitter.com/SFC_CDPOffice （アカウント名：SFC_CDPOffice）

Instagram https://instagram.com/sfc_cdpoffice （アカウント名：SFC_CDPOffice）

(1) 窓口取扱い時間

平日 9:15～16:50

メールアドレス cdp@sfc.keio.ac.jp

◆土曜、日曜、授業のない祝日、1月10日（福澤先生誕生記念日）および夏季・冬季キャンパス一斉休業期間は閉室いたします。

◆上記以外の閉室日は、塾生サイトで随時お知らせします。

(2) 支援内容

① 個別相談

進路や就職活動に関する各種相談に応じています。在学生であれば誰でも利用可能です。その他、履歴書・エントリーシート講評や模擬面接も行っていますので、就職活動開始後にはこちらも利用してください。対面、オンライン、どちらでも可能ですが、事前予約が必要です。

② 就職ガイダンス・セミナーの実施

就職・進路に関連したガイダンス・セミナーを学内で随時開催しています。学年不問で開催しているものも多くありますので、興味があるものには遠慮なく参加してください。ガイダンス・セミナー情報はA館1階掲示板および上記塾生サイト上で告知します。

③ 求人情報、就職活動体験記、OB・OG名簿の提供

各企業・団体から寄せられた求人情報や先輩達の就職活動体験記は、「慶應義塾共通認証システム (keio.jp)」を利用して、学内はもちろん学外からでも検索することができます。紙媒体で届いた求人情報は、上記塾生サイト上、もしくはCDPオフィス内にて閲覧できます。その他、OB・OG名簿等の情報はCDPオフィス内でのみ閲覧できます。OB・OG名簿は学部3年次の秋学期以降閲覧が可能になります。

④ インターンシップ情報の提供

各企業・団体から寄せられた募集内容を上記塾生サイト内のインターンシップに関する項目でお知らせしています。学年を限定しない募集も多くあります。

⑤ 就職関連書籍の貸出

CDPオフィスにある就職関連書籍は1週間の貸出を行っています。

(3) 学校推薦制度

主として技術系就職を希望する学生に向け、SFC独自の学校推薦制度を設けています。研究開発、システムエンジニア、ネットワーク技術系といった職種の条件等で推薦枠が設定され、学内選考を経て、学部長または大学院研究科委員長名による大学からのオフィシャルな推薦状を伴う採用形態です。選考期間の短縮や、選考時に希望部署とのマッチングが行われるなど様々なメリットがあります。一方、推薦者として決定した後の辞退はできません。推薦制度のスケジュールは、例年12月頃よりWebサイトでお知らせいたします。

(4) 公務員志望者支援

公務員志望者への各種支援を行っています。

- ・公務員志望者のためのガイダンスの開催
- ・慶應義塾大学法学部 法学研究所 入室手続き

法学研究所の入室手続きはWEBで受け付けています。法学研究所設置講座の受講を希望する方は利用してください。

法学研究所：http://www.kilp.law.keio.ac.jp/

4 その他窓口

(1) 心身ウェルネスセンター

① 学生相談部門 <https://counseling.sfc.keio.ac.jp/counseling.html>

学生生活の中でのどんな問題についても気軽に相談においでください。キャンパスライフについてはもちろん、個人的なこと、心の悩みについてもどうぞ。専門のカウンセラーが相談に応じます。英語での相談も可能です。

② 保健管理部門 <http://www.hcc.keio.ac.jp/>

保健管理センター（心身ウェルネスセンター内）では、学生・教職員の健康管理、保健教育、環境衛生などを行っています。健康相談や応急処置も無料で受けられます。また保健管理センターには湘南藤沢診療所を併設しており、医師による診療が受けられます。



(2) メディアセンター (図書館)

<https://www.lib.keio.ac.jp/sfc/>

学習・教育・研究活動をサポートするために、図書・雑誌や電子ジャーナル・電子ブック・データベース等の学術資料、3Dプリンタ等のファブスペース設置機材や音響・映像用のAV機器、スタジオ等の設備を提供しています。また、インフォメーションテクノロジーセンターと協力してコンピュータ機器やネットワークなどの情報利用環境も提供しています。



(3) インフォメーションテクノロジーセンター (ITC)

<https://www.sfc.itc.keio.ac.jp/>

ITCでは、コンピュータの設置、管理・運営などの管理者権限を必要とする作業や、学生に対する情報提供を行っています。



5 Web サイト・メール

最新のお知らせ、重要なお知らせを Web サイトやメールを通じて提供しますので日常的に確認するようにしてください。お知らせを見逃したことによる損害や不利益について、大学は一切の責任を負いません。

また履修申告や授業参加にあたっては Web サイトの利用が必須で、その他の申請や手続きでも Web サイトの利用が必要となることがあります。

各 Web サイト・メールの機能や使い方についてはそれぞれの利用ガイドやマニュアルを事前に確認するようにしてください。

(1) keio.jp

慶應義塾共通認証システムにより提供される各種サービスの統合メニューサイトです。

keio.jp のトップページには、事務室からのお知らせや呼出、イベント案内など、最新の情報が掲載されるため、日常的に確認してください。

URL : <https://portal.keio.jp/>

ID/Password : 慶應 ID / パスワード



(2) 塾生サイト

在学生 (塾生) に向けて各種情報を提供するポータルサイトです。

URL : <https://www.students.keio.ac.jp/>



(3) SOL (SFC Online Learning System)

総合政策学部・環境情報学部・政策メディア研究科で用いている授業支援のための Web システムです。

URL : <https://sol.sfc.keio.ac.jp/>

ID/Password : CNS アカウント / パスワード



(4) メール

大学からの重要なお知らせは CNS アカウントのメールアドレス (@sfc.keio.ac.jp)、keio.jp のメールアドレス (@keio.jp) に届くことがありますので日頃から確認するようにしてください。

また教員や事務室にメールで連絡を取る際は CNS アカウントのメールアドレスまたは keio.jp のメールアドレスを使用するようにしてください。その他のメールアドレスから問い合わせがあった場合には回答ができないことがあります。

第2 履修

1 履修とは

単位の修得のために学部で規定された科目を選択し学ぶことを「履修」と言います。履修する科目は、多数の開講科目の中から、これまでの単位修得状況や進級・卒業条件に応じて、時間割・シラバスを参考に、自身で選択します。

- (1) 各学期のはじめに履修申告を行い、申告した授業に出席します。
- (2) 履修申告した科目は、定期試験、レポート、授業内試験等、科目ごとに異なる方法で評価されます。
- (3) 履修した科目の成績は、学業成績表として公開され、合格基準を満たした場合には所定の単位が与えられます。

単位修得状況に応じて、翌学期の申告科目を検討します。単位修得を積み重ねた結果、所定の条件を満たすと、進級・卒業することができます。

2 履修申告の流れ

履修申告は履修する科目を登録するものであり、修学的意思を確認するものでもあります。定められた期間に申告がない場合は、修学的意思が確認できないとして、学則第188条により退学処分となります。以下をよく読み、絶対に誤りのないように行ってください。

春学期
3月10日頃～
秋学期
9月5日頃～

(1) シラバス閲覧・履修者選抜情報等確認

時間割、シラバスを参考にし、次学期に履修する科目を決めましょう。シラバスには授業計画、成績評価基準、履修者数制限等の情報が掲載されています。前提となる知識、スキル、履修前提科目・推奨科目などの履修条件が指定されている科目もあります。予めよく読んだ上で履修してください。

シラバスの閲覧にはCNSアカウントが必要です。

▶時間割・シラバス掲載ページ

<https://www.students.keio.ac.jp/sfc/class/registration/>

春学期
3月中旬～4月上旬
秋学期
9月中旬～下旬

(2) 履修者選抜・結果確認

多くの科目において、授業履修者を授業開始前に決める、履修者選抜が行われます。選抜にエントリーし、選抜結果に応じて履修計画を立てましょう。

原則として履修者選抜はSOL-A (<https://sola.sfc.keio.ac.jp/>) からエントリーします。keio.jpでその詳細が案内されます。毎学期、履修者選抜開始前にkeio.jpを確認して方法を確認してください。

2023年度より言語コミュニケーション科目の英語科目、情報技術基礎科目の履修者選抜もSOL-Aにて実施する予定です。

研究会の選考は原則として履修を希望する学期の前学期の授業終了前から始まるので、研究会の履修を検討している場合はシラバスが公開され次第、詳細を確認し、その指示にしたがってエントリーしてください。

春学期
4月上旬～
秋学期
9月下旬～

(3) 履修申告

履修する科目すべてを履修申告します。P.15からの「3.履修申告について」を必ず参照してください。申告は時間に余裕を持って行い、疑問がある場合は申告期間内にSFC学事担当に確認してください。

① 「履修申告」画面へのアクセス

以下のページの操作手順や注意事項をよく読んで申告を行ってください。

▶履修申告の操作手順

<https://www.students.keio.ac.jp/sfc/pmei/class/registration/>

② 登録完了画面の保存

科目登録後、エラーがある場合には画面上に表示されます。すべての科目が正しく登録されていることを確認してください。期間中は何度でも申告内容の

	<p>変更ができますが、履修申告期間後はいかなる理由があっても変更はできません。申告が完了したら必ず科目や分野の間違いや不足がないかを確認してください。</p>
<p style="text-align: center;">↓</p> <p>春学期 4月下旬 秋学期 10月中旬</p>	<p>(4) 履修申告科目確認期間 履修申告時に保存した登録完了画面と、「登録済科目確認」画面を比較し、正しく申告が行われているかどうか必ず確認してください。内容が異なる場合、SFC 学事担当に確認してください。</p>
<p style="text-align: center;">↓</p> <p>春学期 4月中下旬 秋学期 10月中旬</p>	<p>(5) 履修エラー修正期間（対象者のみ） 履修申告にエラーがある対象者のみ、修正を受け付ける期間です。対象者には keio.jp 等を通じて連絡が届きます（春学期 4 月中下旬、秋学期 10 月中旬）ので、案内に従って手続きを行ってください。 履修エラー修正期間中に修正手続きが完了しなかった場合、学事担当で不備を修正します。この期間に手続きを怠ったために生じた不利益について、大学側は一切責任を持ちません。</p>
<p style="text-align: center;">↓</p> <p>春学期・春学期前半科目 4月下旬 春学期後半科目 6月中旬 秋学期・秋学期前半科目 10月下旬 秋学期後半科目 12月中旬</p>	<p>(6) 履修登録取消期間 履修登録済の科目について履修を取消することができます。ただし、一部の科目は取消することができません。取消した科目の成績はつきません。また、新たな科目の追加はできません。 ※履修取消不可科目は塾生サイトで確認してください。 ※通年科目およびセット科目は、春学期科目・春学期前半科目の履修登録取消期間に手続きをしてください。 keio.jp にログイン→ [授業] → [履修申告] → [取消申告]</p>

3 履修申告について

(1) 履修申告における注意事項

履修者選抜と履修申告は異なるものです。履修者選抜で合格した科目は履修申告を正しく完了することで初めて履修できます。履修申告を正しく完了しなかった場合は、履修者選抜で合格した科目であっても履修することができません。

- ① 総合政策学部・環境情報学部設置科目以外を履修する場合、P.21〈5.総環設置科目以外の履修〉を熟読してください。
- ② 履修申告期間後は変更ができません。また、履修申告をしていない科目は、単位を修得できません。

(2) 履修上限単位

1学期間に履修できる単位の上限は以下の通りです。

進級・卒業に必要な単位の上限	20単位
自由科目を含めた単位の上限	30単位

ただし、以下の科目は履修上限単位には含まれません。

「心身ウェルネス」「体育1」「体育2」「体育3」「体育4」「体育5」
「特別研究プロジェクトA」「特別研究プロジェクトB」

また、大学院先取り科目は自由科目のため、進級・卒業に必要な単位の履修上限（20単位）には含まれません。なお、履修上限単位を超えて履修申告した場合、上限を超過した単位数分履修が削除される可能性がありますので注意してください。

(3) 分野

分野とは、学則に基づいて科目を種類ごとに分類したものです。（P.30〈科目および単位数・分野〉参照）総合政策学部・環境情報学部設置科目にはすべて分野が割り振られており、履修申告の際に科目を登録すれば、自動的に科目に応じた分野が登録されます（A欄申告）。

自動的に科目に応じた分野が登録される科目（A欄申告）	分野
・総合政策学部・環境情報学部設置科目（以下の例外を除く）	P.30〈科目および単位数・分野〉参照
・政策・メディア研究科設置プログラム科目（P.21〈大学院先取り科目〉参照）	自由科目
・国際センター設置短期海外研修科目（P.21参照）	言語コミュニケーション科目、あるいは自由科目

他学部・研究所・センターの開講科目等、分野の割り振られていない科目を申告する場合や、自由科目として履修する場合は、履修申告の際に分野を指定する必要があります。指定できる分野は科目によって決まっていますので、以下を参照し、正しく申告してください。

分野の指定が必要な科目	分野
・進級・卒業に必要な単位外での履修 ・研究所・センター設置科目（国際センター設置三田キャンパス開講科目を除く） ・その他、特別な指示があった場合（P.16③自由科目参照）	自由科目
・総合政策学部・環境情報学部以外の学部設置科目 ・国際センター設置三田キャンパス開講科目（短期海外研修プログラムを除く）	他学部等設置科目

(4) 科目について

① 前提科目

科目を履修する前提条件として、前学期までの単位修得などが必須とされている場合があります。

科目名または分野	前提科目・履修条件
体育 2, 体育 3	「体育 1」の単位修得
体育 4, 体育 5	「体育 3」の単位修得
情報技術基礎科目 (「情報基礎 1」を除く)	「情報基礎 1」の単位修得 ただし、「情報基礎 2」以外の科目はタイピング試験合格も前提条件
卒業プロジェクト 2	「卒業プロジェクト 1」の単位修得 ただし、留学中に卒業プロジェクト 1を進める場合は除く。

② クラス指定科目

クラスによって、履修する曜日時限が定められている科目です。以下の科目または分野については、入学 1 学期目の新入生は、指定されたクラスで履修申告をしてください。

科目名または分野	クラス変更の可否
心身ウェルネス	入学 1 学期目の新入生はクラス変更できません。
体育 1	[入学 1 学期目の新入生] クラス変更はできません。 [再履修者] 春学期は専任教員のクラス、秋学期は再履修者用クラスのみ履修可能です。必ず初回授業に出席し履修許可を得てください。
情報基礎 1	[入学 1 学期目の新入生] クラスの変更を希望する場合は、選抜エントリーを行ってください。抽選になる場合があります。 [再履修者] 選抜エントリーを行ってください。選抜後、再履修者クラス・新入生クラスとも空席があるクラスは追加募集を行います。 なお、春学期は再履修者クラスがありませんので、新入生クラスの追加募集のみになります。
言語コミュニケーション科目	入学 1 学期目の新入生はクラス変更できません。ただし、資格認定試験に合格した場合はその科目を履修できます。入学 1 学期目の履修上限は 1 言語 (4 単位) までです。(ロシア語、イタリア語を除く) 2 学期目以降はシラバスの指示に従い履修者選抜に参加してください。

③ 自由科目

進級・卒業に必要な単位に含まれない科目・分野です。

以下の場合、自由科目としてしか履修できません。また、履修申告時の分野として「90-01-02 自由科目 その他」を指定して登録しなければなりません。

なお、一度自由科目として履修・修得した単位を後から進級・卒業に必要な単位に、またその逆にも変更することはできません。

科目名等	分野指定
政策・メディア研究科のプログラム科目	指定なし
既に一度単位を修得済みの科目	90-01-02 自由科目 その他
研究所・センター設置科目 (国際センター設置三田キャンパス開講科目・GIC センター設置日吉キャンパス開講科目を除く)	
同一科目 (1 学期に複数履修する場合) (④同一科目参照)	
1 学期の進級・卒業に必要な単位の履修上限単位を超えて履修する科目 (P.15)	
その他特別な指示がある場合	

また、次の科目は自由科目として履修することができません。

言語コミュニケーション科目のインテンシブ・ベーシック、心身ウェルネス、体育 1、体育 2、体育 3、体育 4、体育 5、卒業プロジェクト 1、卒業プロジェクト 2

④ 同一科目

原則、科目名が同じ科目は、進級・卒業に必要な単位として一度しか単位修得はできません。単位修得済みの科目と同一名称の科目（担当者が異なる場合も含む）は、自由科目としてのみ再度履修ができます。

ただし、次の科目は、進級・卒業に必要な単位として複数回の履修ができます。

プロジェクト英語A/B/C/D、日本語インテンシブ初級1/2、日本語インテンシブ1/2/3/4、言語コミュニケーション科目のスキル・コンテンツ、海外研修科目、研究会A、研究会B、特別研究プロジェクトA/B、卒業プロジェクト1（メンター変更をした場合のみ）

また、以下の科目は、修得済み科目と、今年度以降に開講される科目名が異なっても同一科目とみなします。

新科目名	旧科目名
生命科学実験の基礎	基礎生命科学実験
イノベーションとマーケティングリサーチ	IT領域におけるイノベーションの普及とユーザー調査
データビジネス創造A	データビジネス創造
データビジネス創造B	データビジネス創造
民法（債権）	民法（財産法）
民法（親族・相続）	民法（家族法）
和声学1	音楽基礎
作曲法1	音楽と認知
ビヨンドブロックチェーン基礎	ビヨンドブロックチェーン
ビヨンドブロックチェーン応用	ビヨンドブロックチェーン
バイオインフォマティクスのデータサイエンス	基礎バイオインフォマティクス
データ社会とビジネスモデル	知的財産権とビジネスモデル
セキュリティ脅威に対する情報システム 防御基礎演習	PBL演習K
インシデントハンドリング演習	先進PBL演習F
スマートフォンセキュリティ演習	大学院インターンシップC
Basic Sec Cap PBL演習I	PBL演習I
Basic Sec Cap 先進PBL演習E	先進PBL演習E
Basic Sec Cap 大学院インターンシップD	大学院インターンシップD
Basic Sec Cap 大学院インターンシップE	大学院インターンシップE
地球システムA	地球システム

※**07学則**からの移行者はこの限りではありません。学事担当窓口で詳細を確認してください。

4 各科目履修申告時の注意事項

(1) 体育 <https://wellness.sfc.keio.ac.jp/>

① 体育システム

体育科目の予約、体育ノートの提出、レポートの提出を行うシステムです。

② 体育2・体育3

「体育1」を合格した次学期に、必ず「体育2」「体育3」を同時に履修申告してください。履修申告画面で、曜日「その他」から、「体育2」「体育3」をそれぞれ選択、登録できます。一度履修申告をすると、単位を修得するまで申告が有効となりますので、再度の申告は不要です。

体育システムで出席する授業を予約します。各15回出席し、レポートを提出することが単位修得の条件です。

③ 体育4・体育5

前学期までに「体育3」の単位を修得していることが履修の前提条件です。履修申告する場合は、履修申告画面で、曜日「その他」から、「体育4」「体育5」を選択、登録してください。一度履修申告をすると、単位を修得するまで申告が有効となりますので、再度の申告は不要です。ただし、体育4・5を履修申告した学期以外では履修登録取消はできませんので注意してください。

体育システムで出席する授業を予約します。各15回出席し、レポートを提出することが単位修得の条件です。

(2) 言語コミュニケーション科目 <https://language.sfc.keio.ac.jp/>

① 資格認定試験（英語、アラビア語、マレー・インドネシア語を除く）

各学期のガイダンス期間に外国語能力を認定する試験を行います。ベーシック1、インテンシブ1以外の科目を履修する場合、受験が条件となる場合があります。日程は前学期末の成績発表日に keio.jp に掲載されるお知らせや言語コミュニケーション科目 Web サイトで確認してください。

② コンテンツ科目

科目名に「(語圏)」が含まれる科目、および英語や日本語で開講される講義科目の一部は、言語コミュニケーション科目の「〇〇語コンテンツ」として履修ができます。(P.30〈科目および単位数・分野〉参照)

コンテンツ科目として履修した場合、元の科目の分野に関わらず、基盤科目(言語コミュニケーション科目)となります。対象科目のシラバスには、コンテンツ科目の科目名も併記されています。

例：「言語論(ドイツ語圏)」先端科目(総合政策系)
 「ドイツ語コンテンツ」基盤科目(言語コミュニケーション科目)

ただし、「日本語コンテンツ」として履修するためには、事前に日本語研究室で許可を得なければなりません(履修者選抜とは異なります)。

③ 海外研修科目

夏季・春季休校期間中を利用し、現地教育機関等で開講される科目です。A(4単位)、B(2単位)、海外で実施するインテンシブ科目(4単位)があります。詳細は、各言語の Web サイトおよび研究室で確認してください。参加した直後の学期に必ず履修申告を行わなければならない、履修取消はできません。参加直後の学期に休学・留学する場合は、休学・留学申請時に学事担当に相談してください。

(3) データサイエンス科目 <https://ds.sfc.keio.ac.jp/>

データサイエンス1から2単位以上修得後、データサイエンス2に進むことが推奨されていますが、両方の科目を同時に履修することも可能です。

(4) 情報技術基礎科目 <https://itclass.sfc.keio.ac.jp/>

「情報基礎1」は必修です。「情報基礎1」の単位修得後、レベルに応じて「情報基礎2」、またはそのほかの情報技術基礎科目を履修できます。

(5) 研究会

「研究会A」「研究会B」の2種類があり、教員によってタイプが異なります。

科目名	週当たりのコマ数	単位数	受入人数の目安
研究会A	週2コマ	4単位	35名
研究会B	週1コマ	2単位	15名

1学期に自由科目での履修を含めて6単位まで履修申告できます。原則2年生から履修できますが、1年生であっても、担当者に特に認められた場合に限り、1学期に1つだけ履修することができます。

シラバスは開講の直前の学期に、その他の講義科目より先んじて公開されます。履修選抜は研究会ごとに実施されますので、シラバスで選抜方法・日程を確認してください。

(6) 卒業プロジェクト

研究会を中心とするSFCでの学習の成果として、第4学年に「卒業プロジェクト」として論文の執筆や作品の制作などを行います。第4学年1学期目に「卒業プロジェクト1」を、2学期目に「卒業プロジェクト2」を履修し、単位を修得することが卒業条件の1つです。

卒業プロジェクトの担当教員を「卒プロメンター」と呼びます。卒業プロジェクトを履修するためには、所定の期間にメンター申請を行い、承認を受けなければなりません。卒プロメンターとの対話を行いながらプロジェクトを進め、論文や作品など実際の研究成果物を作成し、評価・認定を受けます。

① 指定アспект充足 (第3学年1学期目まで)

メンター申請を行うためには、メンター申請を行う1学期前(原則第3学年1学期目まで)に卒プロメンターの指定するアспектの1つから4単位以上修得している必要があります。また、その他の要件が課されている場合もありますので、早い段階から、アспектの充足や要件を満たせるように履修計画を立てましょう。

卒プロメンターの指定アспектは、keio.jp、Web上で確認することができます。

② 卒プロメンター申請 (原則第3学年2学期目)

第4学年に進級する前々学期末(9月頃、3月頃)から申請手続きが始まります。0次、1次、2次申請はWeb上で手続き、可否確認ができます。申請の詳細はkeio.jp、塾生サイトで案内します。

※0次申請で選抜は行われません。履修登録開始前に希望のメンターを登録し、適宜メンターとコミュニケーションを取りながら、当該学期の履修計画等に役立ててください。

1 メンター申請を行う直前の学期(原則第3学年1学期目)までに、メンターの指定するアспектの1つから4単位以上修得していること。

2 その他、メンターの設定する要件を満たしていること。

修正申請は修正申請用紙での手続きとなります。用紙は、keio.jpからダウンロードしてください。

※卒プロメンターが決定した直後の学期に当該教員の「卒業プロジェクト1」を履修しなかった場合、メンター申請の承認は無効となり、再度メンター申請を行う必要があります。

③ 卒業プロジェクト1 (第4学年1学期目)

次学期に「卒業プロジェクト2」の成果物を完成させるための計画や準備を行います。「卒業プロジェクト2」を履修するためには「卒業プロジェクト1」の単位を修得しなければなりません。

「卒業プロジェクト1」の単位修得後にメンターを変更した場合は、「卒業プロジェクト1」の再履修が必要です。

「国外留学申請」が教授会で承認され第4学年1学期目に留学する学生に限り、留学の前後に必要な手続きを行い承認された場合は、「卒業プロジェクト1」の単位を修得することなく、「卒業プロジェクト2」を履修申告できます。詳細はSFC学事担当に問い合わせてください。

④ 卒業プロジェクト2 (第4学年2学期目)

論文や作品など実際の研究成果物を作成し評価・評定を受けます。「卒業プロジェクト1」の単位を修得した場合に限り履修できます。卒業するためには「卒業プロジェクト2」の単位を修得しなければなりません。

単位を修得するためには、所定の期間に研究成果物を提出しなければなりません。詳細は keio.jp で案内します。

提出された研究成果物は、原則として塾内で公開されます。合否は「卒業プロジェクト2」の成績を確認してください。

(7) 特別研究プロジェクト

研究会を担当している教員による、学期中ではできないような研究を夏季・春季休校期間中に集中して行う科目です。

参加直後の学期に履修申告を行わなければならない、また履修取消はできません。

1学期に進級・卒業に必要な単位として履修申告できるのは「特別研究プロジェクトA」もしくは「特別研究プロジェクトB」のいずれか1科目です。複数履修する場合には、2科目以上は「自由科目」として履修してください。

参加直後の学期に休学・留学する場合は、休学・留学申請時に学事担当に相談してください。

(8) フィールド研究 <https://www.students.keio.ac.jp/sfc/pmei/class/registration/>

夏季・春季休校期間中において、個人の研究テーマに関連した国内外での実地調査や研究活動（フィールドワーク）あるいは就業経験（インターンシップ）を行い、進級・卒業に必要な単位とするには、事前に研究計画書類を提出し、活動内容の許可を得なければなりません。活動した休校期間の直後の学期に「フィールド研究1」もしくは「フィールド研究2」の履修申告を行わなければならない、また履修取消はできません。

申請基準、活動時間、課題などの詳細は、上記塾生サイト、keio.jpにて確認してください。

5 総環設置科目以外の履修

(1) 大学院先取り科目（研究科設置科目）

先取り科目として履修が認められている政策・メディア研究科の「プログラム科目」（学部併設科目を除く）、社会学研究科・法学研究科・法務研究科の一部の科目は手続きを経て先取り履修することができます。それぞれ、履修に必要な手続きをしてください。

① 政策・メディア研究科

対象科目：プログラム科目（学部併設科目を除く）

政策・メディア研究科の「プログラム科目」（学部併設科目を除く）を学部在学中に修得し、卒業後に政策・メディア研究科に進学した場合、8単位を限度として政策・メディア研究科修士課程修了に必要な単位に認められることがあります。履修申告の手順は以下の通りです。

- 1 keio.jpを確認の上、『大学院先取り科目履修申請書』をダウンロードします。
- 2 履修申告画面で、政策・メディア研究科の時間割から科目を探し、A欄のまま登録してください。自動的に「90-09-02 自由科目政策・メディア研究科設置科目プログラム科目」となります。政策・メディア研究科に進学後の認定方法など詳細は「大学院ガイド」を確認してください。
- 3 初回授業で『大学院先取り科目履修申請書』に各授業担当者の承認印（署名可）を得て、keio.jpに記載の期日までに学事担当に提出してください。

② 社会学研究科・法学研究科・法務研究科ほか

詳細は各研究科のWebサイトを確認してください。

(2) 国際センター設置短期海外研修科目

国際センターでは、毎年夏季・春季休校期間中に講座を開講しています。

詳細は、国際センターWebサイト（<https://www.ic.keio.ac.jp/>）を参照の上、各学期始めのプログラムガイドにも参加してください。

履修申告画面で、国際センターの時間割の曜日「その他」から科目を探し、A欄のまま登録してください。講座によって履修申告できる分野は異なり、自動的に以下の表の分野が割り振られます。

科目名	分野
オックスフォード大学クライストチャーチ・コレッジ夏季講座	言語コミュニケーション科目（英語）
ケンブリッジ大学ダウニング・コレッジ夏季講座	
ウィリアム・アンド・メアリー大学夏季講座	
ノートルダム大学夏季講座	
パリ政治学院春季講座	
シンガポールマネジメント大学春季講座	
シドニー大学春季講座	
タフツ大学春季講座	
オックスフォード大学リンカーン・コレッジ夏季講座	自由科目

※講座の開講有無は年度によって変わります。国際センターWebサイト（<http://www.ic.keio.ac.jp>）を参照してください。

(3) 学生総合センター設置科目

学生総合センター設置科目「大学生活における責任と危機管理」は春学期・秋学期のWeb履修申告で自由科目として履修申告することができます。授業の詳細は塾生サイトを確認してください。

(4) 教職課程センター設置科目

教職課程センター設置科目のうち、「現代教師論」と「教育基礎論」と「学校カリキュラム論」に関しては、1年生であっても在学2学期目以降であれば授業に参加できます。ただし、具体的にどの授業に参加できるかは年度によって変わりますので、別途掲示等で確認してください（たとえば、「現代教師論」という名称の科目であっても、特定の学期・曜日・時限の授業以外は参加不可）。なお、湘南藤沢キャンパス在籍者が1年生でこれらの科目を履修する場合は、原則として授業に参加するその学期に履修申告を行う必要があります。

教職課程

教員免許状を取得するためには、教職課程を履修しなければなりません。ガイダンス期間に教職課程センターが実施する各種ガイダンスに出席し、「教職課程履修案内」を熟読の上、履修してください。

SFC で取得が認められている免許状の種類および教科は、以下のとおりです。

総合政策学部	総合政策学科	中学校 1種	社会
		高等学校 1種	公民
環境情報学部	環境情報学科	高等学校 1種	情報

※他学部で認められている教科についても取得できる場合があります。

① 教職課程への登録

原則として第2学年以降の4月または9月の所定期間に登録します。登録方法は教職課程ガイダンスで説明します。

② 履修申告

教職課程センター設置科目については、春学期開講の四半期科目、半期科目および通年科目については、春学期の履修申告期間に、秋学期開講の四半期科目、半期科目については秋学期の履修申告期間に登録を完了してください。

免許状取得に必要な科目は相当広範にわたるので、計画的に履修することが肝要です。

③ 2023年4月に入学した第1学年を対象とした科目の先取りについて

第2学年で教職課程へ登録する前に、一部の教職課程センター設置科目において履修を認めます。4月入学生に対しては詳細を年度初めに実施する、新入生向け教職課程ガイダンスで説明します。

④ 事務取扱窓口

質問内容	窓口	質問内容	窓口
履修申告 ※クラス分け科目についての質問のみ、 CDPオフィス	学事担当	教職課程登録	CDPオフィス
		教職課程ガイダンス	
		介護等体験	
		実力テスト	
		教育実習	
成績・進級・卒業条件		教職免許一括申請	
休講・補講・時間割変更		その他不明な点	
証明書			

(5) 鶴岡工業高等専門学校・山形大学農学部設置科目の単位互換

詳細は keio.jp から確認してください。

(6) 国際基督教大学設置科目の単位互換

詳細は keio.jp から確認してください。

(7) 他学部・諸研究所等設置科目

注意

他学部・諸研究所設置科目の履修申告方法・時期は総合政策学部・環境情報学部設置科目と異なる可能性があります。他学部・諸研究所等設置科目を履修する際は十分に注意してください。

① 履修申告可能な科目

必ず事前に各学部の履修案内・講義要綱・シラバスを確認してください。以下の2つの条件をすべて満たした科目に限り、履修が可能です。

1 科目を設置している学部が他学部生の履修を制限していないこと

各学部が定める「他学部他研究科学生の履修を制限する科目(学部)」の一覧に掲載されている科目は履修できません。各学部の履修案内も併せて塾生サイトや keio.jp に掲載されているので確認してください。

所属・学年による制限もあります。学年条件を満たしていない場合は、制限科目でなくても履修できません。また、学部によっては、この一覧に未掲載の科目の履修を制限する場合や、他学部生は自由科目としてのみ履修を認める場合があります。シラバス、塾生サイト、keio.jp、各学部の掲示等で各自情報を収集してください。

2 授業担当者の許可を得ること

必ず初回の授業に出席し、初回授業で授業担当者に許可を得てください。初回授業が休講の場合や、秋学期開講科目で春学期に履修許可を得られない場合、開講される第1回目の授業で許可を得てください。

② 履修申告

①に示した履修申告可能な科目のみ履修申告することができます。正しい分野（P.15〈分野〉参照）を選択し、必ず履修申告期間中に申告をしてください。

※春学期に履修申告をした秋学期開講の他学部・諸研究所等設置科目を削除できるのは秋学期履修取消期間となります。SFCのクラス指定科目や必修科目等との重複が発生した場合は、やむをえない事情があると認められた時に限り、状況に応じて修正が認められることがあります。履修申告期間が終了するまでに学事担当まで申し出てください。

※一部の科目はWebでの履修申告ができない場合があります。余裕をもって申告し、エラーが出た場合は履修申告期間中に、SFC学事担当に確認してください。履修申告期間終了後の問い合わせは受け付けません。

③ 分野

正しい分野を選んで申告しなければなりません。P.15〈分野〉を参照してください。

④ 履修学年

他学部では履修学年を指定している科目がありますので、その指定に従ってください。特に三田・矢上設置科目の多くは3年生以上が履修申告可能となります。（ただし、三田・文学部は2年生以上）

日吉設置共通授業科目は、所属学部ごとに履修申告可能な学年が異なる場合があります。履修する科目の主学部（科目取りまとめ学部）の時間割から、自身の学年の時間割（1年生の場合、1年生用の時間割）を確認してください。

⑤ 時間上の制約

SFCと他キャンパスの科目（東宝ビルでの開講科目含む）を連続する時限に履修することはできません。1時限分以上間隔をあげなければなりません。

また地区間を移動するにあたり、移動不可能な履修申告はできません。次の例のような履修は認められません。

例①：3限に三田キャンパスの授業を履修し、4限に日吉キャンパスの授業を履修する。

例②：2限に三田キャンパスの授業を履修し、3限に湘南藤沢キャンパスの授業を履修する。

なお、三田・日吉キャンパスの移動に関しては、昼休みをはさむ2・3時限の履修は可能としますが、授業に遅れてしまう場合も有り得ますので、十分に注意してください。

⑥ 「遠隔（オンライン）授業」の履修について

K-LMS等に掲載されている、「オンライン授業受講ガイドライン」を確認してください。

異なる地区において連続した時限に開講される授業であっても、一方または両方が遠隔（オンライン）授業（例：1時限目に日吉の対面授業、2時限目に三田の遠隔授業）の場合、履修することは可能とします。ただし、授業時間が重なるため、SFC設置科目1時限（9：25～10：55）と他キャンパス設置科目2時限（10：45～12：15）の連続履修は認められません。一方で、他キャンパス設置科目1時限（9：00～10：30）とSFC設置科目2時限（11：10～12：40）の連続履修は可能です。

また、遠隔（オンライン）授業であっても一部対面授業を実施する、授業内試験を対面で実施する等、履修上の不都合が発生する場合があります。異なる地区において連続した時限で開講される授業で、一方または両方が遠隔（オンライン）授業である場合には、シラバスで授業実施形態の詳細を確認すると同時に、科目担当者への確認等を行い、不都合がないことを確認したうえで、自身の責任のもと履修をするようにしてください。

⑦ 通年科目・セット科目の履修単位・成績

通年科目はその単位を2等分したものを春学期と秋学期の履修上限単位に加算します。年度末（秋学期末）に成績がつき、分割して単位を認定することはありません。

セット科目は、春学期・秋学期を通じて開講される科目です。半期だけの履修は不可で、年度末（秋学期末）

に一括して成績がつきます。ただし、同一学期内にまとめて開講される場合は、当該学期末に一括して成績がつきます。

⑧ 履修取消

履修取消については、通年科目・セット科目・春学期開講科目は春学期、秋学期開講科目は秋学期の取消期間となります。ただし、各学部が定める「他学部・他研究科学生による履修登録取消が認められない科目（学部）」に掲載されている科目は履修取消できません。塾生サイトに掲載されている各学部の履修案内を併せて確認してください。

また、秋学期の履修申告・履修申告修正期間に、春学期に履修申告済みの通年科目および秋学期開講科目の修正・削除はできません。

他学部・他研究科生による履修登録取消が認められない科目（学部）

最新情報を必ず以下の塾生サイトで確認してください。

<https://www.students.keio.ac.jp/com/class/registration/other-faculties.html>

【注意事項】

1. 個々の授業によって履修取消の制限をする場合があります。必ず講義要綱・シラバスを熟読してください。
2. 新規に履修取消が制限される場合がありますので、最新情報を掲示等で必ず確認してください。
3. 履修する分野や所属学年による制限もありますので、注意してください。

(8) 研究所・センター設置科目

各研究所・センター設置科目の履修分野は下記の通りです。履修に際しては必ず該当する履修分野の項も確認してください（P.15）

※ 履修申告は、他学部設置科目と同様に行ってください。

※ 下表に該当する科目でも、他学部の時間割の同一時限に同一教員の授業がある（他学部と併設している）場合は、他学部設置科目として履修することもできます。（分野も異なります。[例]日吉設置の福澤研究センター「近代日本と福澤諭吉Ⅰ」は経済学部の総合教育科目として日吉の時間割に掲載されています）。

科目設置研究所・センター	分野
国際センター	04-01-01 他学部等設置科目
GICセンター	90-01-02 自由科目その他
教養研究センター	90-01-02 自由科目その他
福澤研究センター	
外国語教育研究センター	
言語文化研究所	
斯道文庫	
保健管理センター	
メディア・コミュニケーション研究所	
グローバルリサーチインスティテュート	
体育研究所	
教職課程センター	
学生総合センター	
ミュージアム・コモンズ	
アート・センター	

6 その他

「学部・大学院修士4年一貫教育プログラム」に参加している学生は履修上限単位が24単位となります。履修申告開始前にSFC学事担当から届くメールにしたがって手続きをする必要があります。

在学生に適用される学則

在学生には14学則が適用されます。2018年度まで07学則が適用されていた学生は14学則へ移行されました。

2014年の春、総合政策学部・環境情報学部のカリキュラムがあたりしくなりました。SFCは、1990年に開設されてから2020年で創立30年をむかえましたが、その間、何度かカリキュラムが変わってきました。それは、私たちのキャンパスが、「ないものはつくる」という「実験する精神」によってかたどられていることの証です。変化を怖れず、多様化・複雑化する問題に向き合いながら、カリキュラムそのものをバージョンアップすることで、動きのある、実学を志向した知的探究が可能になると考えているからです。

これまでのカリキュラム改訂のなかで、開設時から変わっていないのが、「研究会」を中心に、学生が自らの学びをデザインするという点でしょう。「研究会」は、教員や仲間とともに自由闊達に語り、教え合い、積極的に現場に関わりながら問題に取り組むための場です。1年生から「研究会」に所属できるのも、SFCのカリキュラムのユニークなところ。SFCには、100を超える「研究会」があり、そのひとつひとつは、個性ある考え方や方法にもとづいて活動しています。「研究会」での活動は、SFC生としての集大成である「卒業プロジェクト」へと連なるもので、自分の価値観を再編成し、人間的な成長を促す機会にもなります。

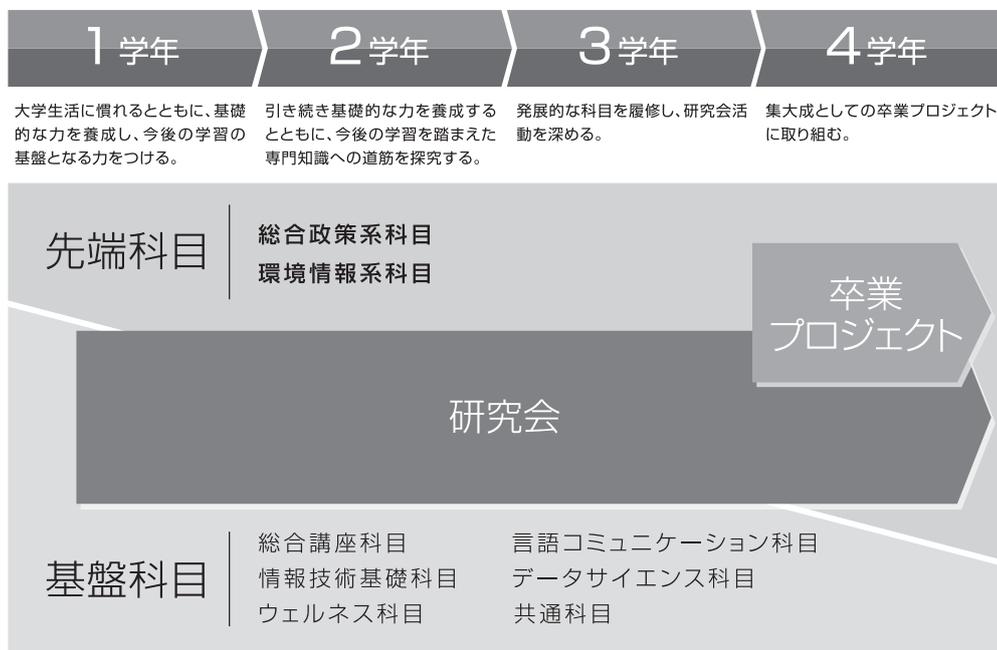
あたらしいカリキュラムでは、「研究会」を中心に据えながら、すべてのSFC生に必要なと思われるコミュニケーション能力や情報処理技術、調査研究の方法、さらには健康な心や身体をつくるということの重要性を、あらためて際立たせました。「実験する精神」を体得しつつ、入学してからできるだけ早い段階で自分の可能性を知り、自分にふさわしいと思える「研究会」に出会えるような仕組みも用意しました。また、開講形態の多様化についても、積極的にすすめていきます。たとえば短期集中型の開講形態を設けることによって、より豊かな学びの場が提供されるばかりでなく、4年間という学生生活のあり方をより柔軟に計画できるようになります。当然のことながら、慶應義塾の他キャンパスはもとより、国内外をふくめ、SFCの「外」で学ぶチャンスも開かれています。

まずは、あたらしいカリキュラムの成り立ちと考え方を理解し、自分自身の履修計画を立ててみましょう。

1 カリキュラム

(1) カリキュラムの全体像

SFCのカリキュラムは「研究会」と「卒業プロジェクト」を中心に据え、これらに向けた導入や強化のための授業科目群によって構成されています。



(2) 科目群の趣旨と概要

① 研究プロジェクト科目

カリキュラムの中心に位置づけられています。「研究プロジェクト中心」のコンセプトを実践するためにも、是非入学後の早い段階から様々な研究プロジェクトに触れ、情熱を持って取り組める研究テーマをみつけてください。

a 研究会

研究会の履修を通じて「卒業プロジェクト」に向けて、教員と学生が共に考えながら、多様な課題に取り組んでいきます。SFCでは「問題が与えられ、正解を教わる」のではなく「何が問題かを考え、解決方法を創出する」ことができる、「未来の先導者」を育成、輩出することをめざしています。それを実践するための「研究会」は単なるゼミのような勉強グループではなく、企業との共同研究や官公庁からの委託研究など、先端的な研究活動が数多く行われています。それらに参加して実社会の問題に取り組むことによって高度な専門性を身につけ、自らの「未来創造の成果」として、また、自らが未来へ前進するときの「自分自身のプロポーザル」として、卒業プロジェクトを作成します。そのため、両学部ともカリキュラムの核となるのは「研究会」です。原則として、2年生から学期（春学期、秋学期）毎に6単位を上限として研究会を履修できますが、本人の能力次第では1年生からでも履修できます。

b 卒業プロジェクト

「研究会」を中心とする学習の成果として、すべての学生は、卒業までに、論文の執筆や作品の制作などを行います。これまで培ってきた創造性と先端性を駆使し、卒業に向けて、研究成果を生み出すプロジェクトを自ら推進するものです。研究成果の形態は、論文の執筆や作品の制作のほか、研究の成果としてふさわしいものが求められます。卒業プロジェクトは、自らの研究として取り組んできた各種プロジェクトをまとめ上げる段階であり、通常は2学期間以上かけてメンターとの対話を行いながら進め、論文や作品など実際の研究成果物を作成し、評価・認定を受けます。

② 基盤科目

学部を問わず、すべてのSFC生が学ぶべき「基盤」を培うための科目です。入学後の早い段階から「研究会」や「卒業プロジェクト」に必要な言語・思考法・技法等を意識しながら履修計画を立てられるように、学びを支援します。一部の「基盤科目」は必修・選択必修科目に指定されており、これらの科目履修を導入として、一人ひとりの関心領域に応じて継続的に「基盤」の強化をすすめていくことが期待されています。

a 言語コミュニケーション科目 <https://language.sfc.keio.ac.jp/>

言語コミュニケーション重視の観点から言語教育に力を入れており、英語のみならず、マレー・インドネシア語、アラビア語、朝鮮語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、日本語が開講されています。少人数で週4コマ集中して習得していく「インテンシブ」で実力を培い、テーマ別授業の「スキル」や、現場を体験する「海外研修」でそれを補えば、本物の外国語能力、言い換えれば、文献読破や論文執筆、討論や交渉、フィールドワークやプレゼンテーションで活用できるような、高度の外国語能力を身につけることができます。

b データサイエンス科目 <https://ds.sfc.keio.ac.jp/>

いくつもの分野に広く応用できる共通の基礎技法を習得するための科目であり、データの獲得・編集・分析手法とモデリング・シミュレーションおよび論理・確率・代数などの数理科学について学びます。

c 情報技術基礎科目 <https://itclass.sfc.keio.ac.jp/>

コンピュータを創造的に使いこなすために必要となるプログラミング能力を養います。情報技術の本質を理解し活用できるようになるための基礎となります。

d ウェルネス科目 <https://wellness.sfc.keio.ac.jp/>

問題発見および解決型学習を通じた心身の融合と人間的成熟を目指し、「気づく・探す・深める・伝える」を基本理念とした実践の場を提供します。

「体育1」では様々な背景を持つ学生同士が身体運動を通じて互いに交流を深め、クラスという集団の中で個の発見を目指します。「体育2～5」では自主的に種目を選択し、新たな自己発見、身体知の探索と伝承、人間的成長を促します。実技のみならず座学による実践的な知を獲得することも特徴です。

③ 先端科目

「基盤」となる科目を履修しながら、「研究会」「卒業プロジェクト」へと導く科目です。「先端科目」は、より具体的に調査研究に接近し、「研究会」「卒業プロジェクト」の前提となる専門的・先端的な科目によって構成されます。「卒業プロジェクト」を指導する教員の専門性や調査研究へのアプローチ等に則して、具体的な履修計画を立てやすいよう、ガイドする「アспект」という仕組みがあります。

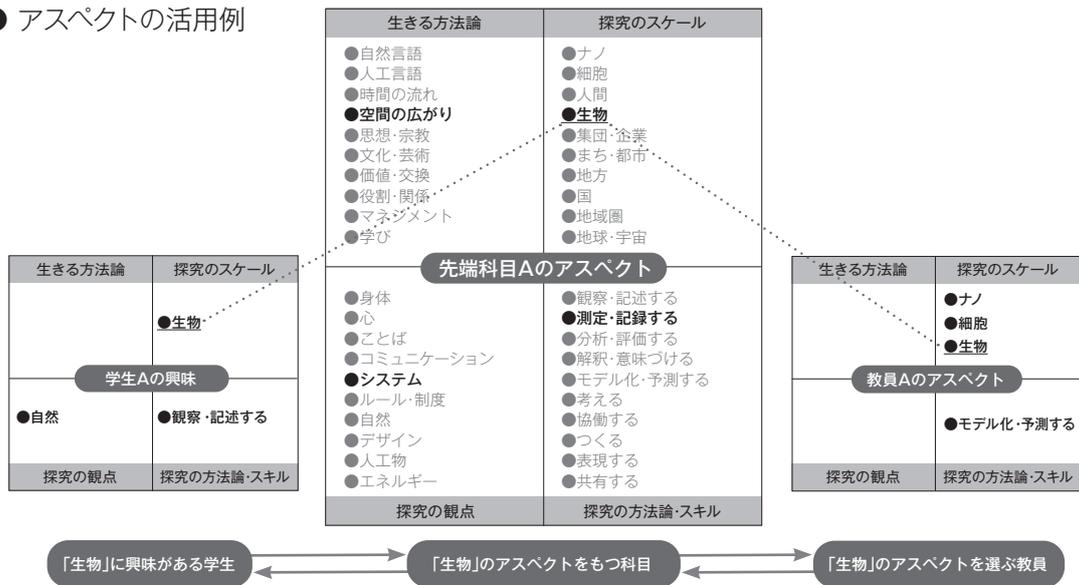
(3) アспект

① アспектとは

SFCでは、幅広い学術領域にわたって、毎学期数多くの授業科目が開講されています。学生は、学年などの制約をあまり受けることなく、自由に履修する科目を選ぶことができますが、科目が多すぎて、本当に自分にフィットする科目を見つけれられないこともあります。

アспектは、授業科目と研究会の結びつきを、研究や授業を構成する諸側面(アспект)に分解して「見える化」したものです。アспектを道標にして、これまでは視野に入ってこなかった研究会や科目を「発見」することができるよう工夫されています。

● アスペクトの活用例



② アスペクトの種類と活用法

生きる方法論	探究のスケール	探究の観点	探究の方法論・スキル
<ul style="list-style-type: none"> ●自然言語 ●人工言語 ●時間の流れ ●空間の広がり ●思想・宗教 ●文化・芸術 ●価値・交換 ●役割・関係 ●マネジメント ●学び 	<ul style="list-style-type: none"> ●ナノ ●細胞 ●人間 ●生物 ●集団・企業 ●まち・都市 ●地方 ●国 ●地域圏 ●地球・宇宙 	<ul style="list-style-type: none"> ●身体 ●心 ●ことば ●コミュニケーション ●システム ●ルール・制度 ●自然 ●デザイン ●人工物 ●エネルギー 	<ul style="list-style-type: none"> ●観察・記述する ●測定・記録する ●分析・評価する ●解釈・意味づける ●モデル化・予測する ●考える ●協働する ●つくる ●表現する ●共有する

「研究会」を担当する教員は、4グループ、計40アスペクトから、研究領域の関連するアスペクトを複数指定しています。また、先端科目、および一部の基盤科目には、その科目を特徴づけるアスペクトが複数選択されています。教員、科目のアスペクトは、Web上で参照できます。

「教員－アスペクト－科目」のつながりや、アスペクトが共通する科目同士、教員同士のつながりを探するなど、履修科目や研究会を選ぶ際に「アスペクト」を活用しましょう。

③ 卒業プロジェクトとの関わり

「卒業プロジェクト」のメンター申請を第3学年2学期目に行うためには、直前の学期(第3学年1学期目)までに、メンターの指定するアスペクトを充足しなければなりません。詳細はP.19,20〈卒業プロジェクト〉を参照してください。

(4) 学部・大学院修士4年一貫教育プログラム

「学部・大学院修士4年一貫教育プログラム」とは、4年間で、総合政策学部または環境情報学部の学士号と、大学院政策・メディア研究科の修士号の2つの学位を取得できるプログラムです。学士および修士の標準修業年限は、学士課程4年+修士課程2年の計6年間ですが、このプログラムに参加することで、学士および修士の2つの学位を、学士課程3年+修士課程1年の計4年間で取得できる道が開けます。詳細は keio.jp、塾生サイトでお知らせします。

(5) **3.5年早期卒業制度**

卒業要件を満たしたうえで、優秀な学業成績など優れた成果を挙げた者が3.5年（7学期）在学すれば卒業できる制度です。9月入学者の4月就職、4月入学者の海外大学院進学などを支援することを目的としています。詳細は keio.jp、塾生サイトでお知らせします。

(6) **在学期間延長制度**

4年生が卒業に必要な単位を満たした場合でも、在学期間延長を申請し許可を得られれば、学部学則第156条で定められた在学期間の上限内で引き続き2学期まで在学することができます（学部学則第169条）。ただし、学費は全額納入しなければなりません。詳細は keio.jp、塾生サイトでお知らせします。

(7) **GIGAプログラム (Global Information and Governance Academic Program)**

総合政策学部、環境情報学部の学生は、学部や学年、入試形態にかかわらずGIGAプログラムの科目を履修できます。また、あらかじめ申請を行うことでGIGAプログラム生となり、塾生サイトに記載の要件を満たすことでサティフィケート（プログラム修了証）を取得することができます。詳細は keio.jp、塾生サイトでお知らせします。

(8) **パースペクティブ**

2017年度より、分野横断的な学びをガイドする「パースペクティブ」という仕組みを導入しました。個別具体的な問題や専門分野に集中して深く掘り下げていく研究会での学修などで視野から外れがちな、その周辺に広がっている学術的な知見・活動の広がりガイドすることを目的としています。

「ヘルスサイエンス (HS)」「エビデンスベースドアプローチ (EBA)」「スチューデントビルドキャンパス (SBC)」の3つをはじめとして、さらに多様な領域へ拡大していきます。詳細は塾生サイトをご覧ください。

<https://www.students.keio.ac.jp/sfc/pmei/class/registration/perspective.html>

(4) 科目および単位数・分野

※科目種類(詳細)内の<>は、カリキュラムコードを示します。全ての科目にコードが付されています。各科目のコード(###の部分)はシラバスを確認してください。

種類	(詳細)	分野	科目名 ()内は単位数 記載のない科目は全て2単位	必修 単位数	選択 単位数
基盤 科目	総合講座科目 <B1###>	01-01-01	総合政策学(1) 環境情報学(1) 慶應義塾入門	1 ※1	30
	言語コミュニケーション科目 <B2###>	01-02-01	SFC 実践英語入門(4)	8 (少なくとも1語種で4単位)	
		01-02-02	英語 (インテンシブ1(4) プロジェクト英語A・B・C・D コンテンツ 海外研修A(4)・B) 一部の国際センター設置短期海外研修科目 ※2		
		01-02-03	朝鮮語 (ベーシック1・2 インテンシブ1(4)・2(4) スキル コンテンツ 海外研修A(4)・B)		
		01-02-04	中国語 (ベーシック1・2・3 インテンシブ1(4)・2(4)・3(4)・4(4) スキル コンテンツ 海外研修A(4)・B)		
		01-02-05	マレー・インドネシア語 (ベーシック1・2 インテンシブ1(4)・2(4)・3(4) スキル コンテンツ 海外研修A(4)・B)		
		01-02-06	アラビア語 (ベーシック1・2 インテンシブ1(4)・2(4)・3(4) スキル コンテンツ 海外研修A(4)・B)		
		01-02-07	ドイツ語 (ベーシック1・2 インテンシブ1(4)・2(4)・3(4) スキル コンテンツ 海外研修A(4)・B)		
		01-02-08	フランス語 (ベーシック1・2 インテンシブ1(4)・2(4)・3(4)・4(4) スキル コンテンツ 海外研修A(4)・B)		
		01-02-09	スペイン語 (ベーシック1・2 インテンシブ1(4)・2(4)・3(4)・4(4) スキル コンテンツ 海外研修A(4)・B)		
		01-02-10	日本語 (ベーシック1・2・3・4 ベーシック1 (演習) (1)・2 (演習) (1)・3 (演習) (1)・4 (演習) (1) インテンシブ1(4)・2(4)・3(4)・4(4) スキル コンテンツ インテンシブ初級1(4) インテンシブ初級2(4)		
		01-02-11	ロシア語 (ベーシック1・2 インテンシブ1(4)・2(4))		
	01-02-12	イタリア語 (ベーシック1・2)			
	データサイエンス 科目 <B3###>	01-03-01	【データサイエンス1】 統計基礎 確率 微分・積分 線形代数	2	
		01-03-02	【データサイエンス2】 経済・ファイナンスのデータサイエンス 情報と社会のデータサイエンス ビジネスのデータサイエンス 医療・健康のデータサイエンス 環境ガバナンスのデータサイエンス 生命動態のデータサイエンス スポーツのデータサイエンス 国際社会のデータサイエンス 問題発見・解決のための数学リテラシー 統計解析 ベイズ統計 数理モデル 最適化の数理 数理解析 生命科学実験の基礎 認知科学のデータサイエンス バイオインフォマティクスのデータサイエンス アルゴリズムサイエンス (2022年度以降) 折紙の科学 地球惑星科学にみる数学 データ科学と人工知能・芸術・デザインのための数学 (確率・統計編) 情報理論	2	
	情報技術基礎科目 <B4###>	01-04-01	情報基礎1 情報基礎2 システムプログラミング基礎 オブジェクト指向プログラミング基礎 スクリプト言語プログラミング基礎	4	
	ウェルネス科目 ※3 <B5###>	01-05-01	心身ウェルネス(1) 体育1(1)	2 (各1)	
		01-05-02	体育2(1) 体育3(1)	2 (各1)	
		01-05-03	体育4(1) 体育5(1)		
	共通科目 <B6###>	01-06-01	地理学基礎 物理・化学基礎 未来構想ワークショップ 新事業創造ワークショップ 政策デザインワークショップ リーガルワークショップ 電子おもちゃ設計ワークショップ ゲノム解析ワークショップ センシング技術ワークショップ 音楽基礎 学びのデザインワークショップ ICTと学習環境ワークショップ ことばと文化の学習デザイン コラボレーション技法ワークショップ(4) ライティング技法ワークショップ オーラルヒストリーワークショップ 翻訳実践ワークショップ 科学ライティングワークショップ アカデミックライティング実践 企業経営ライティングワークショップ 多言語コミュニケーション実践 対人コミュニケーション実践 相互交流と問主観性 集団コミュニケーション実践 多文化コミュニケーション ネットワークコミュニケーション実践 デザイン言語実践(4) デザインスタジオ基礎(4) デジタルデザイン基礎(4) 公共政策 リーガルマインド ソーシャルイノベーション 都市と地域の未来 ヒューマンセキュリティ スポーツビジネス グローバルガバナンス 多言語社会コミュニケーション 言語コミュニケーション論 第二言語としての日本語教育 言語と認知 都市と建築の歴史 空間情報発想 地球システム 地球環境技術論 ソシオセマンティクス モノ創りの科学 インターネット 身体知論 心のオシャレ学 デザイン言語総合講座 NPOの設立と経営 ベンチャー経営論 財務・ビジネスプラン構築技法 ソーシャルビジネスプランニング 経営戦略 組織戦略(組織行動) 組織戦略(組織設計と変革) マーケティング戦略 パブリックリレーションズ戦略 リーダーシップ論 戦略的交渉論 組織コミュニケーション ヒューマンキャピタル論 研究開発と組織 リスクマネジメント コンサルティング技法 プレゼンテーション技法 アカデミックプレゼンテーション実践 アカデミックライティング ビジューアライゼーション 出版編集技術 リーガルライティング 契約ワークショップ 立法ワークショップ 立法技術論 政策法務論 金融経済ゲーミング ゲーム理論 組織経営の会計 企業会計論 経営分析 仕事と社会 キャリア開発論 ライフキャリア論 プロフェッショナルエシックス 意思決定能力の開発 企業インターンシップ(4) 非常利組織インターンシップ(4) 社会起業家インターンシップ(4) 生活者の社会参加 教育評価・開発論 シンキングプロセスデザイン パターンランゲージ デザインスタディーズ 建築生産とデザイン コンピュータミュージック1 コンピュータミュージック2 ソフトウェア工学 プログラミング方法論 モノ創り実験工房(4) 電子工作 プロダクトデザイン基礎 デザイン観察基礎 情報デザイン基礎 ミュージアムデザイン基礎 アルゴリズムデザイン デジタルメディアと映像表現 ファッションデザイン デザインリサーチ 音楽と認知 デジタルサウンドコンポジション1 質的調査法 インタビュー法 フィールドワーク法 データ獲得法 資料検索法 論理学 創造社会論 創造システム理論 ワークショップデザイン 芸術と科学 身体論 方法論探究 サブカルチャーと社会認識 日本研究概論1 日本の近現代 法律学 科学史 イスラームと現代社会 認知科学 脳と行動 感覚の生理と心理 パーソナリティ発達論 一般意味論 プログラミング言語総合講座 アナログ・デジタル電子回路基礎(4) ネットワークアーキテクチャ ソフトウェアアーキテクチャ ユビキタスシステムアーキテクチャ データベース概論 Webデザインとマネジメント Webテキスト処理法 ソフトウェア開発実践(4) 情報数学 情報経済学 認知学習論 第二言語習得論 (2020年度まで) 人工知能論 自然言語論 ブランディングデザイン 生命システム 生命現象と現実社会の比較論 ヘルスリサーチの基礎 代謝の基礎生物学 人体の構造と機能 人体の健康と病理 バイオシミュレーション1 基礎分子生物学1(1) 基礎分子生物学2(1) 基礎分子生物学3(1) 基礎分子生物学4(1) 情報通信システム基礎 日本の行政機構 パーソナルブレイクデザイン マッピングイメーゼデザイン イスラーム世界入門 基礎バイオインフォマティクス トップスポーツ論 和声学1 和声学2 作曲法1 作曲法2 第二言語習得と外国語教育入門 (2020年度まで) 音楽と文化 日本の諸音楽 (2019年度まで) 企業経営 世界史のなかの日本 音楽史 アルゴリズムサイエンス (2021年度まで) 公共哲学 政策形成とメディア 現代アート概論 建築CAD入門 公共哲学実践 選択と自由 精神医学と精神分析		

- ※1 総合政策学部所属の学生は「総合政策学」、環境情報学部所属の学生は「環境情報学」がそれぞれ必修科目
- ※2 P.21 <国際センター設置短期海外研修科目>参照
- ※3 各学期の履修上限単位 (20単位) 外で履修可能
- ※4 「卒業プロジェクト2」を履修するためには、前学期までに「卒業プロジェクト1」の単位を修得しなければならない
- ※5 60単位まで卒業に必要な単位に含めることができる
- ※6 20単位まで卒業に必要な単位に含めることができる
- ※7 P.15 <分野>、P.16 <自由科目>、P.22 ~ 24 <他学部・諸研究所等設置科目> <研究所・センター設置科目>参照

種類	(詳細)	分野	科目名・種別
自由 科目	<Z1###>	90-01-01	データサイエンス基礎
		90-01-02	その他(自由科目で履修) ※7
	政策・メディア研究科 設置科目	90-09-02	プログラム科目

種類	(詳細)	分野	科目名 ()内は単位数 記載のない科目は全て2単位	必修 単位数	選択 単位数
先導科目	総合政策系 <C1###>	総合政策 学部生 02-01-01 環境情報 学部生 02-02-01	古典と現在 近代史 近代思想の世界 現代思想の世界 文学の世界 歴史と文明 社会紀業論 パブリックマネジメント 社会保障政策 (医療・介護) 社会保障政策 (年金・労働・福祉) 社会安全政策 (治安) 社会安全政策 (防災) 現代社会学論 社会構造分析 社会関係分析 インノベーションダイナミクス ネットワーク分析 ネットワーク政策 ネットワーク文化 マスコミュニケーション 消費とライフスタイル リスク社会の制度設計 都市システム論 地域政策 社会動態論 地域計画実践論 まちづくり論 都市計画とまちづくり 社会的組織の経営 (ヘルスケア) 社会的組織の経営 (ミュージアム) 社会的組織の経営 (スポーツビジネス) ソーシャルマーケティング コミュニティインベストメント パブリックガバナンス 非営利・公企論 コーポレートガバナンス 情報技術とマーケティング ネットワーク産業論 ネットワーク社会論 ポピュレーションダイナミクス 表象文化論 文化政策 科学技術政策 国土政策 環境政策 企業の社会的責任と社会・経済の活性化 知識産業マネジメント 地域医療システム エビデンスに基づく健康政策とコミュニケーション 現代政治論 政治制度論 地方自治論 法と社会 憲法 (人権) 憲法 (統治) 民法 (財産法) 民法 (家族法) 企業法 (会社法) 企業法 (ベンチャー関連法) 刑法 行政法 情報法 実験・行動経済学演習 ミクロ経済1 ミクロ経済2 マクロ経済1 マクロ経済2 ストック経済論 計量経済学 現代金融論 政策立案論 政策過程論 地方政府動態論 行政法演習 民法演習 企業法演習 知的財産権論 公共選択論 経済政策 財政政策 (国家) 財政政策 (地方政府) 経済分析演習 計量ファイナンス プロジェクト評価論 ファイナンス論 リスクと保険 国際関係論 国際政治経済論 外交と戦略 安全保障と国際紛争 国際機構論 国際開発論 地域開発論 国際環境論 国際金融論 国際企業論 国際法 国際コミュニケーション 日本研究概論2 アジアワークショップ 地域と社会 (アジア・大洋州) 地域と社会 (欧州・CIS) 地域と社会 (米州) 地域と文化 (アジア・大洋州) 地域と文化 (欧州・CIS) 地域と文化 (米州) 宗教と現代社会 言語とヒューマニティ 言語と教育 言語論 (ドイツ語圏) 言語論 (フランス語圏) グローバルエコノミー論 国際協力政策 地球環境政策 安全保障政策 地域論 (ドイツ語圏) 地域論 (フランス語圏) アジア・大洋州地域論 韓国地域論 インドネシア地域論 社会論 (ドイツ語圏) 社会論 (フランス語圏) 韓国社会論 マレー社会論1 マレー社会論2 開発とローカリズム 持続可能システム論 地球環境法 メディア論 (ドイツ語圏) 芸術文化論 (フランス語圏) 現代文化探究 (朝鮮語圏) イスラムとイスラーム圏 インドネシア文化論 文化論 (ドイツ語圏) 文化論 (フランス語圏) 文化論 (中国語圏) HUMAN RIGHTS AND JAPAN 多国籍経営論 民法 (総則・物権) 民法 (債権) 民法 (親族・相続) 地域と文化 (スペイン語圏) 人間の言語と文化 (2018年度以降) 地域と社会 (中東) ポリシーマネジメント (開発とヒューマンセキュリティ) 教育・スポーツ政策 音楽の進化 改革とイノベーション 日米関係史 情報通信技術展開政策 科学倫理 スポーツマネジメント 第二言語習得論 (2021年度以降) 第二言語習得と外国語教育入門 (2021年度以降) 社会科学のための計量分析 地域と文化 (アラビア語圏)	30	
	環境情報系 <C2###>	総合政策 学部生 02-02-01 環境情報 学部生 02-01-01	現代技術と社会 社会と資源 都市と環境 デザインと情報技術 エコロジカルデザイン 生活環境論 エネルギー環境論 生態学 フィールド調査法 地球環境概論 ランドスケープエコロジー 環境センシング論 環境リスク科学 環境保全計画論 環境対応プラクティス エコシステム評価論 自然環境論 地球システム設計論 デザインスタジオ (住まいと環境) (4) デザインスタジオ (自然と建築) (4) デザインスタジオ (都市と建築) (4) 建築設計と環境デザイン 建築構法論アーバンラーラルリデザイン スポーツコミュニケーション スポーツ科学 認知科学ワークショップ 知覚・認知モデル論1 知覚・認知モデル論2 構成的認知論 インプレッションマネジメント 認知心理学 応用認知科学 脳情報科学 言語と思考 生命と知能の進化 基礎生命科学実験 遺伝子工学実習(4) 遺伝子解析実習(4) 基礎分析化学(1) 基礎生化学(1) 分子健康科学ワークショップ 基礎動物実験1(1) 基礎動物実験2(1) 分子栄養学と健康 細胞レベルの生命科学による革新 医食農同源社会の実現 東西医療の融合 バイオシミュレーション2 イメージと精神分析 身体運動解析(4) スポーツエンジニアリング スポーツバイオメカニクス 心的環境論 知覚運動スキル論 ヒューマンセントードデザイン 語彙意味論 認知言語論 質量分析(1) 生命分子構造(1) 生命分子機能(1) プロテオミクス(1) 代謝システム工学(1) ゲノム分子生物学1 ゲノム分子生物学2 メタボロミクス(1) メタボローム解析実習 プロテオーム解析実習 代謝システム工学実習 生命物理学 メディアの変遷と未来 ヒューリスティックコンピューティング システムプログラミング スマートデバイスプログラミング 関数型プログラミング デザインとプログラミング 画像処理プログラミング グラフィックスプログラミング 空間分析(4) データベース構築法 第一次産業と情報 IT政策と技術 環境エネルギー情報 インターネット計測とデータ解析 量子情報処理 自律・分散・協調 コンピュータアーキテクチャ オペレーティングシステム 大規模データ処理法 インターネットの設計と運用 情報通信セキュリティとプライバシー 情報と倫理 知識処理論 パターン情報論 インタフェース設計論 ユーザビリティ評価論 モバイルネットワーク論 コピキタスサービ論 情報セキュリティマネジメント Web情報システム構成法 組み込みシステム構成法 プログラミング言語論 言語システム構成法 モノと情報 リフレクティブデザイン プログラマブルマテリアル ドキュメンタリー・ストーリーテリング デジタルファブリケーション インタラクションデザイン コンピュータショナルデザイン デジタルサウンドコンポジション2 視覚メディア表現 オープンデザイン戦略 オープンデザイン実践 CGとCADの数理 ヒューマンコンピュータインタラクション 未踏領域のデザイン戦略 運動の生理と心理 極限環境デザイン ノーテーションと表現 分子健康科学ワークショップ応用 音楽と脳 デジタル信号処理の基礎 触覚と社会 フォレスト・サイエンス・アンド・エンジニアリング (上流) フォレスト・サイエンス・アンド・エンジニアリング (下流) 触覚の科学と技術 音楽と心・身体 大規模データシステム論 複雑系の科学 日本の諸音楽 (2020年度以降) データ×AI・アート・デザイン時代のテキスト処理 地球システムA 地球システムB 実践的メンタルヘルス 感情と行動のコンピューティング 量子インターネット	60	
研究プロジェクト科目 <A1###>		03-01-01 研究会A(4) 研究会B 03-01-02 卒業プロジェクト1 卒業プロジェクト2 ※4 03-01-03 特別研究プロジェクトA(4) ※3 特別研究プロジェクトB ※3 フィールド研究1 フィールド研究2	2 2 (卒プロ2)		
他学部等設置科目 ※5		04-01-01 (B欄「21」他学部等設置科目で履修)			
教職課程教科に関する科目 <Y1###>		05-01-01 日本史概説 世界史概説			
特設科目 ※6 <X1###>		60-01-01 山形文化論 科学技術とジャーナリズム アントレプレナー概論1 アントレプレナー概論2 知的財産権とビジネスモデル 革新的ネットサービスの構築 地域協働とフィールドワーク 21世紀の企業の挑戦 囲碁 グローバルサイエンスとイノベーション TECHNOLOGY IN EDUCATION, EMERGENCE OF A GLOBAL CURRICULUM 交通安全文化論 環境ヘルスサイエンス うた 電子出版 電池社会 リーダーシップ開発のためのコーチング IT領域におけるイノベーションの普及とユーザー調査 フォレスト・プロダクト論 未来創造入門 データビジネス創造 エクスベリエンス・アンド・エンゲージメント デザイン 環境革命の時代 情報システムと社会 イノベーションとマーケティングリサーチ ASEAN フィールドワーク A ASEAN フィールドワーク B 国内フィールドワーク A 国内フィールドワーク B 日本語 (会話入門) (1) デザイン思考と競争戦略 観光立国のための戦略概論 スチューデントビルドキャンパス(SBC)実践 スチューデントビルドキャンパス(SBC)入門 スチューデントビルドキャンパス(SBC)実践(建築A) スチューデントビルドキャンパス(SBC)実践(建築B) データ・ドリブン社会の創発と戦略 データビジネス創造A(1) データ・ドリブン社会の創発と戦略(応用) 人間工学デザインとテクノロジー 機械と材料工学 ブロックチェーン アジアの人物・物流ネットワーク基盤整備 アイヌの言語と文化 (2017年度まで) 人工知能と政策論 セキュリティ総論D PBL 演習K 働くこととジェンダー 労働法 データビジネス創造B(1) 日本とアフリカのグローバルコネクション (持続可能な協働の実現のプロセスの探究) 事業創造入門1 事業創造入門2 ドローン未来社会論 出版の未来 コーポレート・アクセラレーターとコーポレートベンチャーキャピタルの役割 食を取り巻く社会課題とイノベーション ソフトウェア技術を利用した創作的サービス構築論 (基礎) データドリブンアート ソフトウェア技術を利用した創作的サービス構築論 (応用) マンガ 労働政策 衣食住を取り巻く社会課題とイノベーション 事業創造実践 (技術シーズ) 空を飛ぶ 将棋 アフリカ諸国の現実概論 ビヨンドブロックチェーン ランニングデザイン e-Sports論 SFC30ビリッツの創造 ミネラルの森 (SFC30 周年卒業生連携科目) ビヨンドブロックチェーン基礎 ビヨンドブロックチェーン応用 データ社会とビジネスモデル 産業保健心理学 日常生活に活かすストレスマネジメント サイバーセキュリティオペレーション演習 セキュリティ脅威に対する情報システム防御基礎演習 インシデントハンドリング演習 スマートフォンセキュリティ演習 南極生態学 極域における環境問題 うたをつくる 不動産デザイン インドの文化、環境と技術 SDGsと金融 サイバーレジリエンス入門:理論と実践 うたう ミクロナ世界の生態学 日本の社会保障制度 不動産デザイン (ミニスタジオ) メディアアート実践 データセキュリティ アーティスティック・ジャーナリズム スチューデントビルドキャンパス (SBC) 実践 (ランドスケープ) 建築メディア論 コンテキストデザイン AIロボット駆動科学実験 横文彦建築とアーバンニズム思想 確率コンピューティング入門 知識編纂の技法-1 知識編纂の技法-2 環境とエネルギーの経済学 セクター横断型の政策形成 不動産デザイン1 不動産デザイン2 トラスステッド・インターネット概論 感情とコミュニケーション 生と命の多角的理解 サイバーセキュリティの攻撃と防御 スポーツによる地域振興 デジタルヘルスケア分野のアーキテクチャ構築 点群転生デザイン原論 顧客基点のデジタルトランスフォーメーション実践 実践演習:ビジネスモデル分析 実践演習:マーケティング技法 海洋安全保障と海上法執行			
合 計			124		

学事日程
SFC案内
履修
カリキュラム
個人情報取り扱い
キャンパスマップ
施設案内図
歌集

2 進級と卒業条件

(1) 2014年度以降の入学者

① 第2学年への進級

次の2条件を満たすと第2学年へ進級します。

- 1 入学後2学期以上在学し(休学期間を除く)、自由科目を除いて30単位以上修得すること。
- 2 次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

総合政策学部		環境情報学部	
総合政策学	1単位	環境情報学	1単位
心身ウェルネス	1単位	心身ウェルネス	1単位
体育1	1単位	体育1	1単位

② 第3学年への進級

次の2条件を満たすと第3学年へ進級します。

- 1 第2学年であり、入学後4学期以上在学し(休学期間を除く)、自由科目を除いて60単位以上修得すること。
- 2 次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

基盤科目－言語コミュニケーション科目 ※1		8単位以上
ただし、いずれかの語種で4単位以上修得すること。 ※2		
基盤科目－データサイエンス科目	データサイエンス1	2単位以上
	データサイエンス2	2単位以上
基盤科目－情報技術基礎科目		4単位以上

※1 以下の科目は含めることができません。

SFC実践英語入門、ロシア語ベーシック1、ロシア語ベーシック2、ロシア語インテンシブ1、ロシア語インテンシブ2、イタリア語ベーシック1、イタリア語ベーシック2

※2 ロシア語、イタリア語は含まれません。

③ 第4学年への進級

次の2条件を満たすと第4学年へ進級します。

- 1 第3学年であり、入学後6学期以上在学(休学期間を除く)すること。
- 2 次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

基盤科目	30単位以上	※3
体育2	1単位	
体育3	1単位	
研究会Aまたは研究会B	2単位以上	

※3 第3学年への進級条件の単位数を含みます。

④ 卒業

次の3条件を満たすと卒業になります。

- 1 第4学年であり、入学後8学期以上在学(休学期間を除く)すること。
- 2 次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

先端科目	30単位以上
卒業プロジェクト2 ※4	2単位

- 3 2を含め124単位以上修得すること。

次の単位は卒業に必要な124単位に含めることができません。

- ・特設科目として修得した単位のうち、20単位を超えたもの
- ・他学部等設置科目として修得した単位のうち、60単位を超えたもの

※4 「卒業プロジェクト2」を履修するためには、前学期までに「卒業プロジェクト1」の単位を修得しなければなりません。但し、「国外留学申請」が教授会で承認され、第4学年1学期目に留学する学生は事前に必要な手続きを行った場合にはこの限りではありません。P.19, 20〈卒業プロジェクト〉を参照してください。

①～④共通の注意事項

次の単位は、進級・卒業に必要な単位に含めることができません。
・自由科目として修得したすべての単位

(2) 07 学則からの移行者

① 第2学年への進級

次の2条件を満たすと第2学年へ進級します。

- 1 入学後2学期以上在学し(休学期間を除く)、自由科目を除いて30単位以上修得すること。
- 2 次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

総合政策学部		環境情報学部	
総合講座科目	2単位	総合講座科目	2単位
基盤科目-共通	4単位以上	基盤科目-共通	4単位以上

② 第3学年への進級

入学後4学期以上在学し(休学期間を除く)、自由科目を除いて60単位以上修得すると第3学年へ進級します。

③ 第4学年への進級

次の2条件を満たすと第4学年へ進級します。

- 1 第3学年であり、入学後6学期以上在学(休学期間を除く)すること。
- 2 次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

総合政策学部		環境情報学部	
基盤科目-言語コミュニケーション科目	4単位以上 ※1		
基盤科目-データサイエンス科目	4単位以上	基盤科目-データサイエンス科目	4単位以上
基盤科目-情報技術基礎科目	4単位以上 ※2	基盤科目-情報技術基礎科目	8単位以上 ※2
心身ウェルネス	1単位	心身ウェルネス	1単位
体育1	1単位	体育1	1単位
体育2	1単位	体育2	1単位
体育3	1単位	体育3	1単位
先端科目-総合政策系	2単位以上	先端科目-環境情報系	2単位以上
研究会Aまたは研究会B	2単位以上	研究会Aまたは研究会B	2単位以上

※1 以下の科目は含めることができません。

英語基礎1、英語基礎2、SFC実践英語入門、ロシア語ベーシック1、ロシア語ベーシック2、ロシア語インテンシブ1、ロシア語インテンシブ2、イタリア語ベーシック1、イタリア語ベーシック2

※2 以下の科目も含めることができます。

システムプログラミング、デザインとプログラミング、画像処理プログラミング、グラフィックスプログラミング、スマートデバイスプログラミング、関数型プログラミング、メディア技術基礎(Web)、メディア技術基礎(ネットワーク・画像処理)、メディア技術基礎(3Dプログラミング)

④ 卒業

次の2条件を満たすと卒業になります。

- 1 第4学年であり、入学後8学期以上在学(休学期間を除く)すること。
- 2 「卒業プロジェクト2」※3を含め124単位以上修得すること。

次の単位は卒業に必要な124単位に含めることができません。

- ・特設科目として修得した単位のうち、20 単位を超えたもの
 - ・他学部等設置科目として修得した単位のうち、60 単位を超えたもの
- ※3 「卒業プロジェクト2」を履修するためには、「卒業プロジェクト1」を単位修得しなければなりません。但し、「国外留学申請」が教授会で承認され、第4学年1学期目に留学する学生は事前に必要な手続きを行った場合にはこの限りではありません。

①～④共通の注意事項

次の単位は、進級・卒業に必要な単位に含めることができません。

- ・自由科目として修得したすべての単位

(3) 第2学年編入者

① 第3学年への進級

次の2条件を満たすと第3学年へ進級します。

- 1 編入学後2学期以上在学し（休学期間を除く）、自由科目を除いて60単位以上修得すること。
- 2 次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

総合政策学部		環境情報学部	
総合政策学	1単位	環境情報学	1単位
心身ウェルネス	1単位	心身ウェルネス	1単位
体育1	1単位	体育1	1単位

② 第4学年への進級

次の2条件を満たすと第4学年へ進級します。

- 1 第3学年であり、編入学後4学期以上在学（休学期間を除く）すること。
- 2 次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

基盤科目 ※1	30単位以上
基盤科目－言語コミュニケーション科目 ※2 ただし、いずれかの語種で4単位以上修得すること。 ※3	8単位以上
基盤科目－データサイエンス科目	データサイエンス1 2単位以上 データサイエンス2 2単位以上
基盤科目－情報技術基礎科目	4単位以上
体育2・体育3	各1単位
研究会Aまたは研究会B	2単位以上

※1 第3学年への進級条件の単位数を含みます。

※2 以下の科目は含めることができません。

SFC実践英語入門、ロシア語ベーシック1、ロシア語ベーシック2、ロシア語インテンシブ1、ロシア語インテンシブ2、イタリア語ベーシック1、イタリア語ベーシック2

※3 ロシア語、イタリア語は含まれません。

③ 卒業

次の3条件を満たすと卒業になります。

- 1 第4学年であり、入学後6学期以上在学（休学期間を除く）すること。
- 2 次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

先端科目	30単位以上
卒業プロジェクト2 ※4	2単位

- 3 2を含め124単位以上修得すること。

次の単位は卒業に必要な124単位に含めることができません。

- ・特設科目として修得した単位のうち、20 単位を超えたもの
- ・他学部等設置科目として修得した単位のうち、60 単位を超えたもの

※4 「卒業プロジェクト2」を履修するためには、前学期までに「卒業プロジェクト1」の単位を修得しなければなりません。但し、「国外留学申請」が教授会で承認され、第4学年1学期目に留学する学生は事前に必要な手続きを行った場合にはこの限りではありません。

P.19, 20 〈卒業プロジェクト〉を参照してください。

①～③共通の注意事項

次の単位は、進級・卒業に必要な単位に含めることができません。

- ・自由科目として修得したすべての単位

(4) 学士入学者

① 第4学年への進級

次の3条件を満たすと第4学年へ進級します。

- 1 入学後2学期以上在学（休学期間を除く）すること。
- 2 次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

基盤科目	8単位以上
研究会Aまたは研究会B	2単位以上

- 3 2を含め、自由科目を除いて20単位以上を修得すること。

② 卒業

次の3条件を満たすと卒業になります。

- 1 第4学年であり、入学後4学期以上在学（休学期間を除く）すること。
- 2 次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

先端科目	16単位以上
卒業プロジェクト2 ※1	2単位

- 3 2を含め50単位以上を修得すること。

次の単位は卒業に必要な50単位に含めることができません。

- ・特設科目として修得した単位のうち、20単位を超えたもの
- ・他学部等設置科目として修得した単位のうち、16単位を超えたもの

※1 「卒業プロジェクト2」を履修するためには、前学期までに「卒業プロジェクト1」の単位を修得しなければなりません。但し、「国外留学申請」が教授会で承認され、第4学年1学期目に留学する学生は事前に必要な手続きを行った場合にはこの限りではありません。

P.19, 20 〈卒業プロジェクト〉を参照してください。

①～②共通の注意事項

次の単位は、進級・卒業に必要な単位に含めることができません。

- ・自由科目として修得したすべての単位

個人情報の取扱いについて

慶應義塾では個人情報の取扱いに際して「慶應義塾個人情報保護基本方針」および「慶應義塾個人情報保護規程」を遵守し、適正かつ安全に管理します。

入学手続、ならびに入学後にお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、慶應義塾各部門におきまして、①入学手続、②学事（学生が関与する学術研究活動を含みます。）に関する管理、連絡および手続、③学生生活全般に関する管理、連絡および手続、④大学内の施設・設備利用に関する管理、連絡および手続、⑤寄付金、学校債、維持会および慶應カードの募集等に関する連絡、⑥本人および保証人宛に送付する各種書類の発送その他の連絡、⑦三田会（同窓会）に関する書類送付とこれらに付随する事項を行うために利用します。また、個人が特定できないように統計処理した個人情報のデータは、本学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用されます。

上記の業務は、その一部を慶應義塾より当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」といいます。）において行います。業務委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。

また、慶應義塾では三田会（同窓会）活動を支援する一環として、卒業後も三田会（同窓会）から要請があった場合は、所定の手続および審査の上で必要な範囲内において個人情報を提供することがあります。

その他、法律上開示すべき義務を負う場合や、学生本人または第三者の生命／身体／財産を保護するために必要であって本人の同意を得ることが困難な場合など、法令上の例外事由に該当する場合には、第三者に個人情報を開示することがあります。

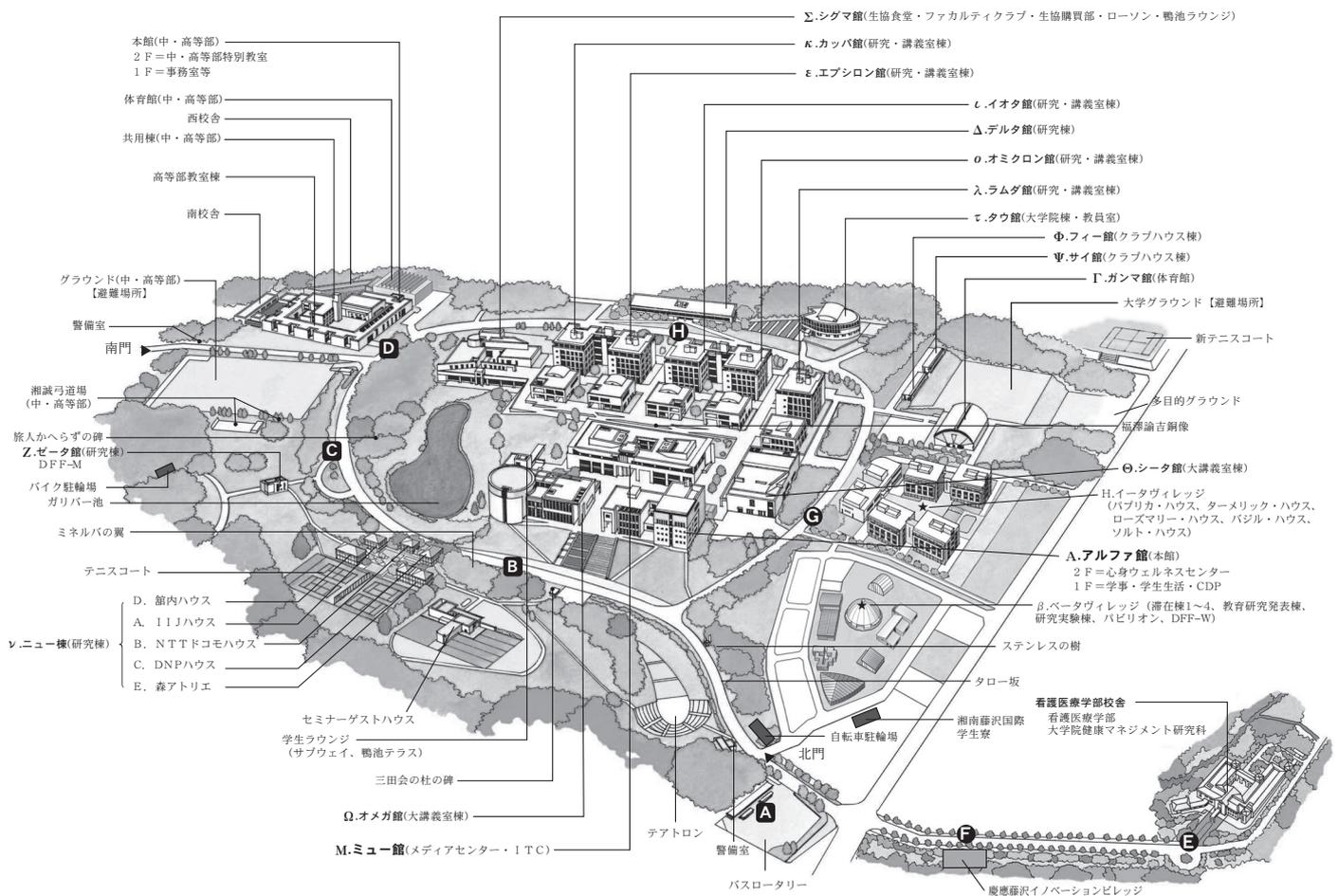
慶應義塾は、以上の場合を除いて、同意なく、個人情報を第三者に開示いたしません。

なお、学生の学業成績表は保証人にも開示いたします。これは、学生の自律性を尊重しつつも、保証人の方に学生の学修状況をご理解いただきたいからにほかなりません。

個人情報の取扱いについて

<https://www.keio.ac.jp/ja/privacy-policy/>

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスマップ



キャンパス内バス停案内

神奈川中央交通バス停留所

- A** 慶応大学
- B** 慶応大学本館前
- C** 中高降車場
- D** 慶応中高等部前

鴨池急行 SoKanKan 停留所 (無料)

- E** 看護医療学部前
- F** SFC-IV
- G** A館 (本館北側)
- H** デルタ館

※湘南藤沢キャンパス内の巡回バスです。

湘南藤沢キャンパスへのアクセス

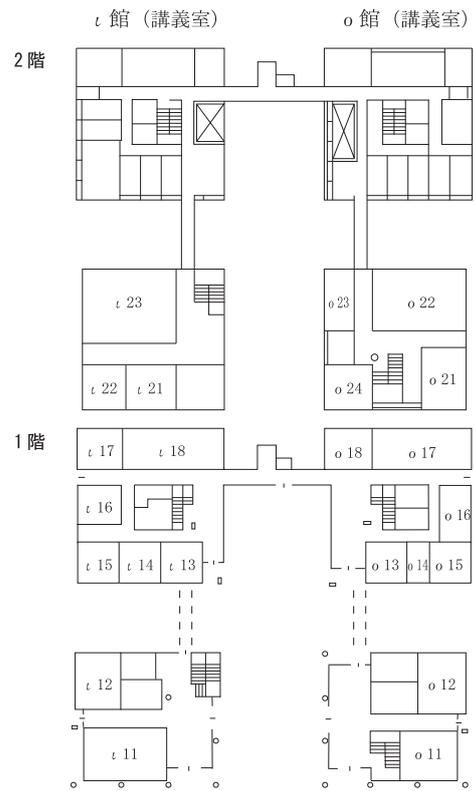
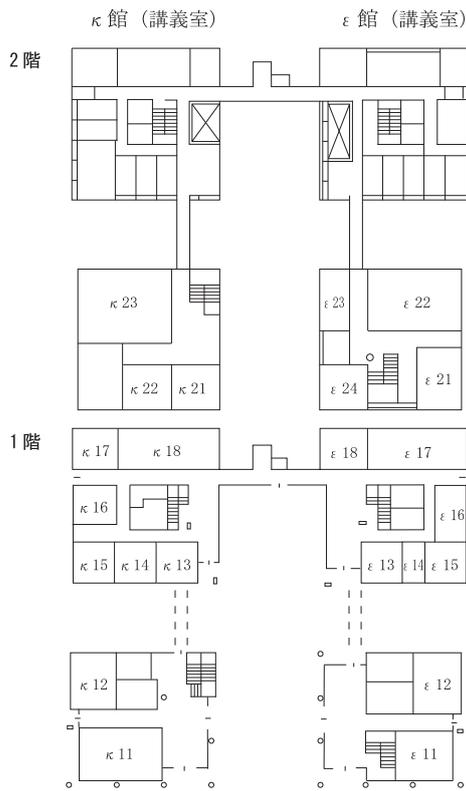
【湘南台駅より】

神奈川中央交通バス
「湘南台駅西口」より「慶応大学」行き
湘23、湘24、湘25系統

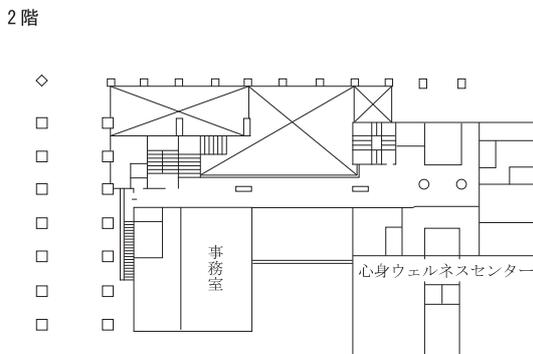
【辻堂駅より】

神奈川中央交通バス「辻堂駅北口」より
辻34系統「慶応大学」行き
辻35系統「慶応中高降車場」行き

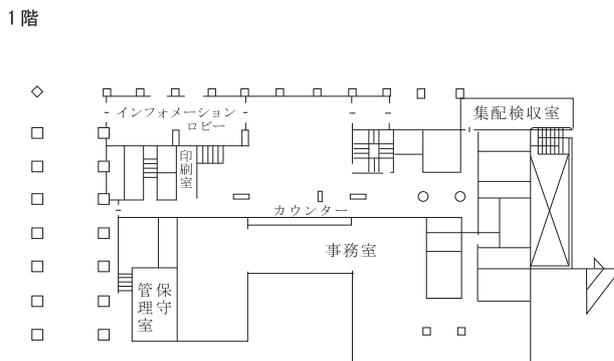
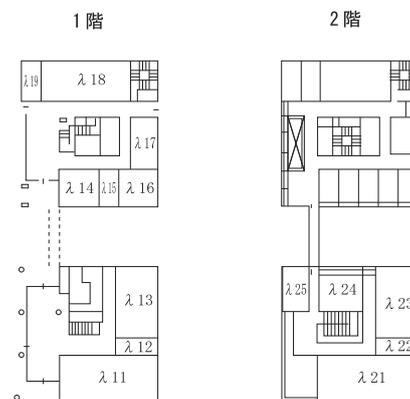
湘南藤沢キャンパス 施設案内図



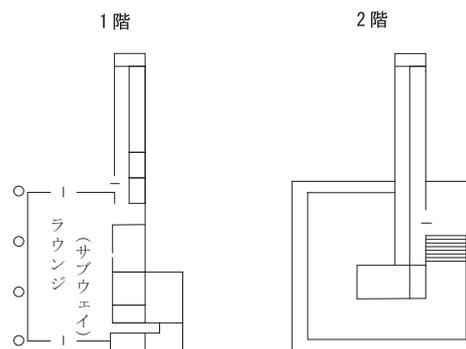
A 館 (事務室など)



λ 館 (講義室)



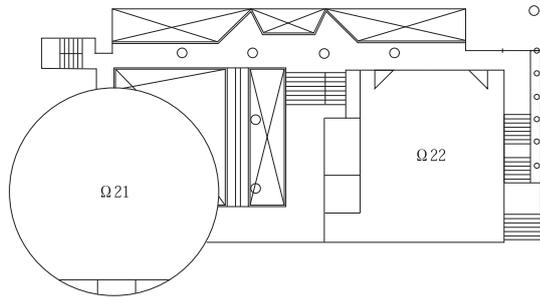
学生ラウンジ



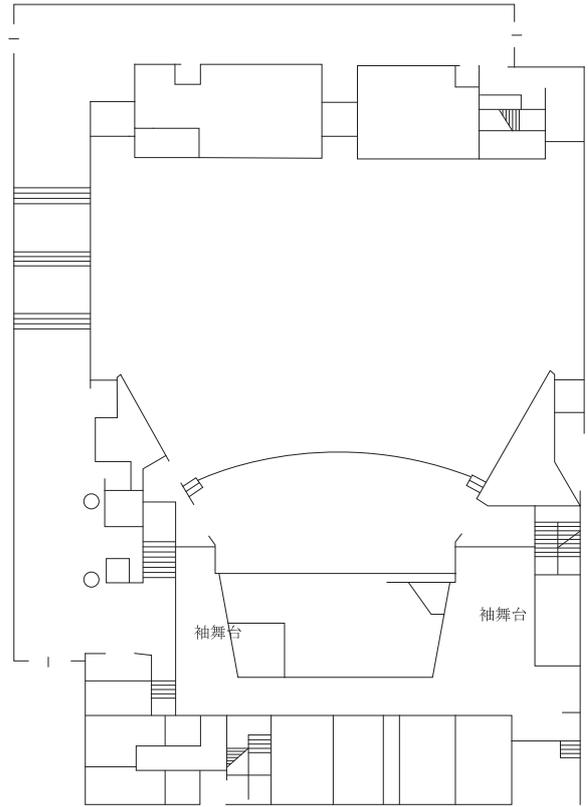
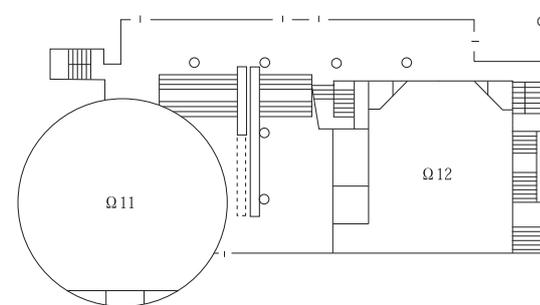
Ω館（大講義室）

θ館（大講義室）

2階



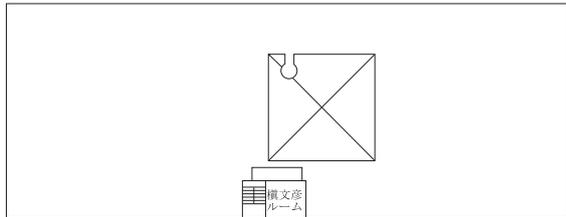
1階



M館（メディアセンター・ITC）

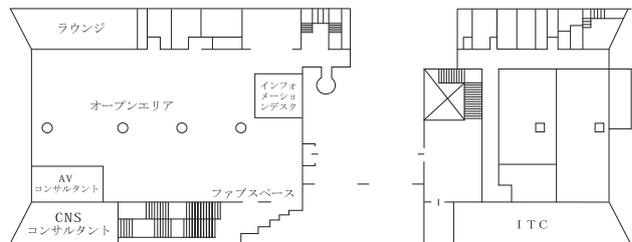
4階

横文彦ルーム



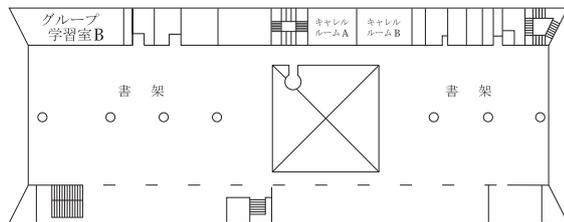
1階

オープンエリア



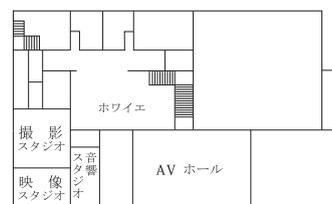
3階

ライブラリーエリア、キャレル



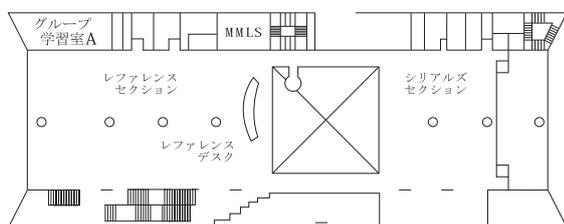
地階

スタジオエリア



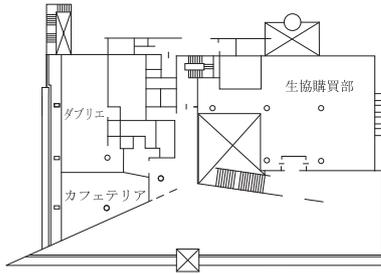
2階

ライブラリーエリア



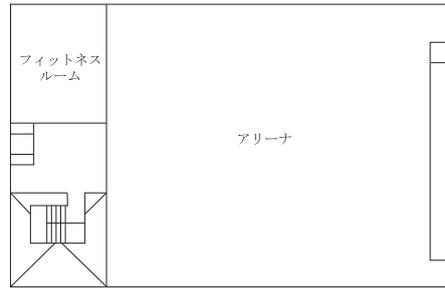
Σ館 (厚生施設)

1階

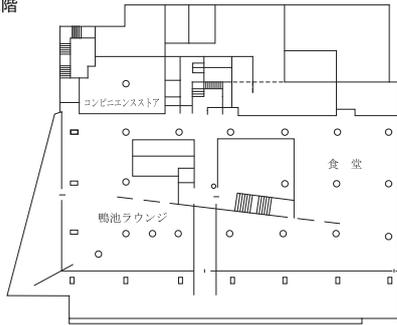


Γ館 (体育施設)

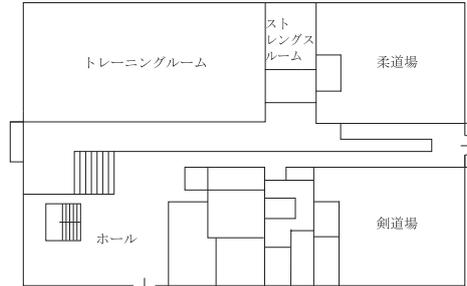
2階



地階

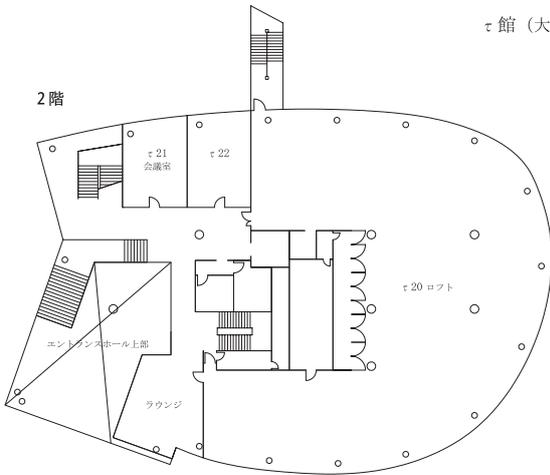


1階

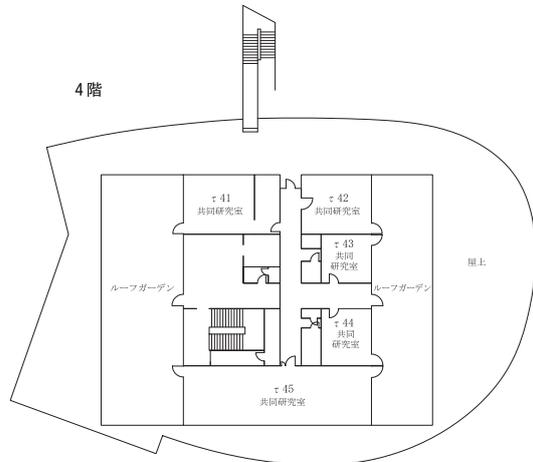


τ館 (大学院棟)

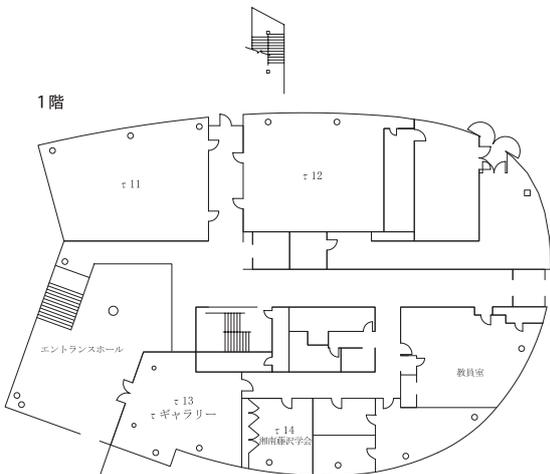
2階



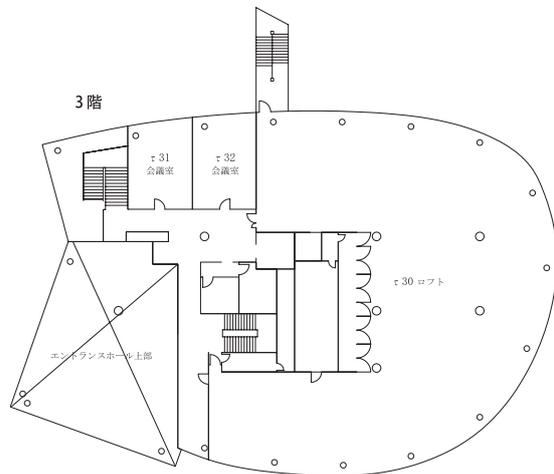
4階



1階



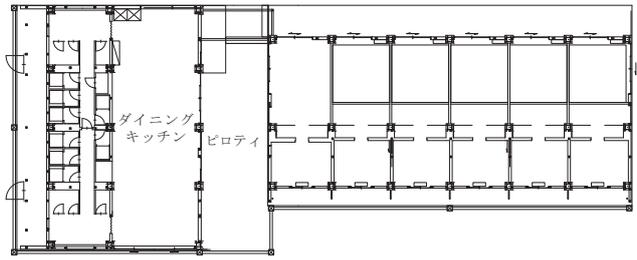
3階



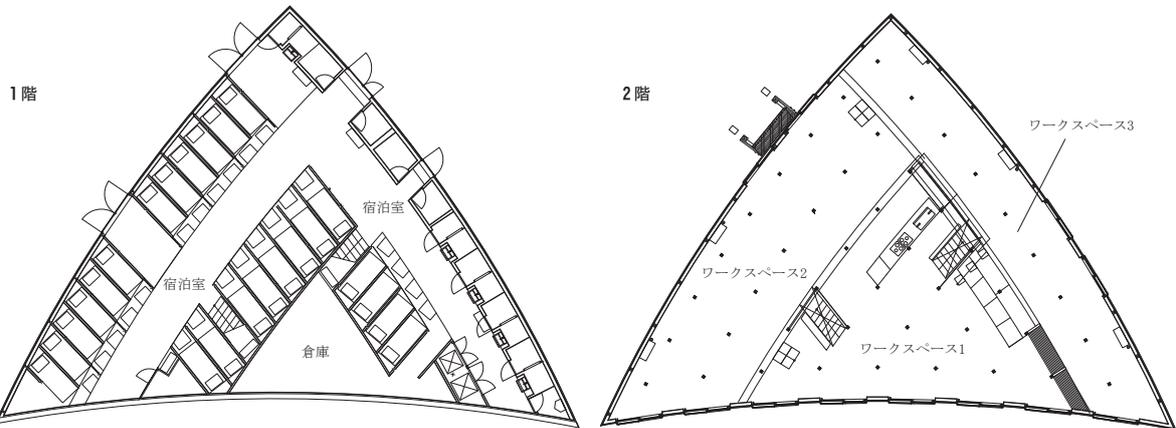
βビレッジ(β1 滞在棟1)



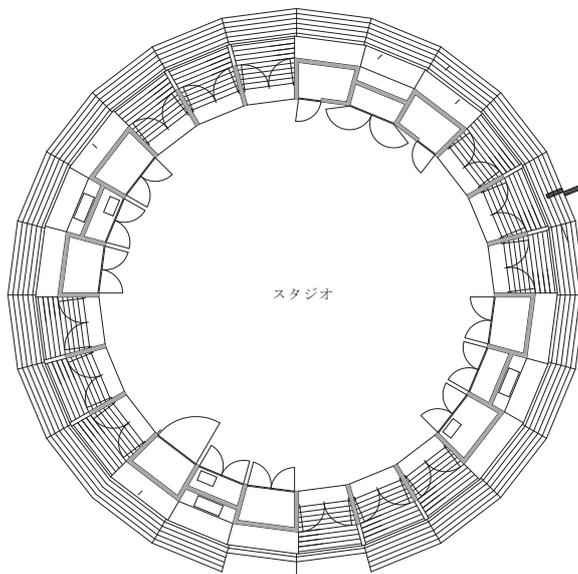
βビレッジ(β2 滞在棟2)



βビレッジ (β3 滞在棟3)



βビレッジ (βドーム)



慶 應義塾塾歌

(昭和十五年作)

富田正文 作詞
信時潔 作曲

力強く (♩=104)

みよ かせに なる わが はたを にひ
 じほ よす るあか つきの あらしのな
 かには ためきて ぶんかのまもりた
 からかに つらぬきたてし
 ほこりあり たてんかな このは—た
 を つよくををしく たてんかな あ
 あわがぎじゅく けいお けいお けいお

mf *rit. mosso* (ややはやめに)
allegro (始めの速まで)
ff

1. 見よ
 風に鳴るわが旗を
 新潮寄するあかつきの
 嵐の中にはためきて
 文化の護りたからかに
 貫き樹てし誇りあり
 樹てんかな この旗を
 強く雄々しく樹てんかな
 あゝ わが義塾
 慶應 慶應 慶應

2. 往け
 涯なきこの道を
 究めていよ、遠くとも
 わが手に執れる炬火は
 叡智の光あきらかに
 ゆくて正しく照すなり
 往かんかな この道を
 遠く遙けく往かんかな
 あゝ わが義塾
 慶應 慶應 慶應

3. 起て
 日はめぐる丘の上
 春秋ふかめ揺ぎなき
 學びの城を承け嗣ぎて
 執る筆かざすわが額の
 徽章の譽世に布かむ
 生きんかな この丘に
 高く新たに生きんかな
 あゝ わが義塾
 慶應 慶應 慶應

若き血

(昭和二年作)

堀内敬三 作詞
作曲

若き血に燃ゆる者
 光輝みてる我等
 希望の明星仰ぎて此処に
 勝利に進む我が力
 常に新し
 見よ精鋭の集う処
 烈日の意気高らかに
 遮る雲なきを
 慶應 慶應
 陸の王者 慶應

力強く (♩=104)
 Tempo di Marcia

わかきちにも
 ゆるものごうきみてるわれらき
 ぼのみよじよあをぎてここ
 にしよりにすすむわがちからつね
 にあたらしみよせいえいのつ
 どうとこるれつじつのいきたからかにさえ
 ぎるくもなきをけいおけいお
 おりくのおうじゃけいお

p-ff
 1. (2)
 1. 2.

慶應讃歌

(昭和二十二年作)

平岡養一 作詞
作曲

Tempo di Marcia

ひかりあふるる三田のやま
われらのにわに つどひたるのぞみに
みちしわかうどはどくりつじそんのじょう
なんけんじ われらがわかぎ
ちからも てりそうのくにを
うちたてむけい おけい おけい おぎじゅ
く その名 たたえむ わがぼこう

1.
光あふる、三田の山
我等が校庭に集いたる
希望にうちし若人は
独立自尊の城南健児
我等が若き力以て
理想の祖国を打建てん
慶應 慶應 慶應義塾
その名讃えん我が母校

2.
栄えに輝く三田の山
意気と力と熱情の
血潮に燃ゆる男の子等が
今ぞ戴く覇権の冠
かぎり火映ゆる丘の上
凱歌を挙げん高らかに
慶應 慶應 慶應義塾
いざや讃えん我が母校

3.
あ、美しき三田の山
第二の故郷三田の山
共にむつみし幾年は
心に永くとまらん
月去り星は移るとも
夢に忘れぬその名こそ
慶應 慶應 慶應義塾
永遠に讃えん我が母校

丘の上

(昭和三年作)

青柳瑞穂 作詞
菅原明朗 作曲

1.
丘の上には空が青いよ
ぎんなんに鳥は歌うよ歌うよ
あ、美しい我等の庭に
知識の花を摘みとろう

2.
窓を開けば海が見えるよ
朗らかに風は渡るよ渡るよ
あ、嚙喰と理想のラッパを
あなたの空に吹きならそう

3.
新しい時代の鐘がひびくよ
若人の胸は躍るよ踊るよ
あ、華やかに若き命を
声張り挙げて歌おうよ

Gaigent [♩ = 120]

1. おかのうえにはそらがあおい
よぎんなんにとりはうたうようたう
よああうつくしいわれらのは
にちしきのはなをつみとろ
うてうたおうよ

Memo

学
事
日
程

S
F
C
案
内

履
修

カ
リ
キ
ュ
ラ
ム

個
人
情
報
の
取
り
扱
い

キ
ャ
ン
パ
ス
マ
ツ
プ

施
設
案
内
図

歌
集

S F C 授 業 時 間 表

授業時間帯は、キャンパス毎で異なります。
SFC における授業時間帯は、以下のとおりです。

時限	授業時間
1	9 : 25 ~ 10 : 55
2	11 : 10 ~ 12 : 40
3	13 : 00 ~ 14 : 30
4	14 : 45 ~ 16 : 15
5	16 : 30 ~ 18 : 00
6	18 : 10 ~ 19 : 40
7	19 : 50 ~ 21 : 20

※遠隔授業の場合は、9:00 開始などもあり得る。

他キャンパス授業時間表

時限	三 田・日 吉・矢 上
1	9 : 00 ~ 10 : 30
2	10 : 45 ~ 12 : 15
3	13 : 00 ~ 14 : 30
4	14 : 45 ~ 16 : 15
5	16 : 30 ~ 18 : 00

KEIO SFC GUIDE 2023

発行日 2023年4月1日

発行者 慶 應 義 塾 大 学

編 集 湘 南 藤 沢 事 務 室

制 作 有 限 会 社 橋 本 写 真 館